

平成30年度県民満足度調査
調査結果報告書
(人生の最終段階における医療等編)

平成 30 年 8 月
岡 山 県

目 次

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
3 分析・表示について	1

第 II 部 調査結果

1 あなたご自身について

問 1 (1) 性別及び年齢階層	2
問 1 (2) 世帯構成	2
問 1 (3) 同居の子どもの有無	2
問 1 (4) 子どもの成長段階	3
問 1 (5) 居住地域 (県民局)	3
問 1 (6) 居住地域 (医療圏域)	3
問 1 (7) 県内での通算居住年数	3
問 1 (8) 職業	4

2 人生の最終段階における医療等について

問 15 介護を受けたい場所	5
問 16 死が近い場合の医療について考えた経験	8
問 17 死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い	10
問 18 リビングウィルに対する考え方	13
問 19 リビングウィルの書面作成の有無	19
問 20 余命が短い場合の延命医療の意向	25
問 21 余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所	32

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

平成 29 年度からの県政推進の羅針盤として策定した「新晴れの国おかやま生き生きプラン」に掲げる項目に関連した県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

2 調査の方法等

- (1) 調査地域 岡山県内市町村
- (2) 調査対象者 岡山県内市町村在住の 18 歳以上の男女（平成 30 年 4 月 1 日現在）
2,500 人
- (3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収）
- (4) 回収結果 1,354 人（回答率 54.2%）
- (5) 調査期間 平成 30 年 6 月 1 日（金）～6 月 15 日（金）

3 分析・表示について

1. 比率については小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
2. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
3. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100%を超えている。
4. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
5. 報告書中の図表では、各属性区分の中で最大値に網掛けをしている。
6. 類似調査比較として、次の調査との比較を行った。

平成 27～29 年度調査：県民満足度調査（人生の最終段階における医療等編）

平成 26 年度調査：在宅療養及び人生の最終段階における医療に関する意識調査（岡山県）

平成 25 年度調査：第 3 次おかやま夢づくりプランに係る県民満足度調査（終末期医療編）（岡山県）

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

■問1(1) 性別及び年齢階層

単位：上段は人、下段の()内は%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	計
男性	10 (1.8)	43 (7.8)	66 (12.0)	75 (13.7)	85 (15.5)	109 (19.9)	161 (29.3)	- -	549 (40.5)
女性	7 (1.0)	58 (8.2)	86 (12.1)	111 (15.6)	119 (16.8)	148 (20.8)	181 (25.5)	- -	710 (52.4)
無回答	- -	3 (3.2)	5 (5.3)	5 (5.3)	10 (10.5)	13 (13.7)	57 (60.0)	2 (2.1)	95 (7.0)
計	17 (1.3)	104 (7.7)	157 (11.6)	191 (14.1)	214 (15.8)	270 (19.9)	399 (29.5)	2 (0.1)	1,354 (100.0)

(注)「10歳代」は、18歳・19歳である

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位：()内は%

	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
構成比	(5.8)	(11.1)	(12.7)	(16.1)	(13.2)	(16.2)	(24.8)	(100.0)

(注)上記構成比は、平成29年10月1日現在の岡山県毎月流動人口調査から算出

■問1(2) 世帯構成

単位：上段は人、下段の()内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	129 (9.5)	357 (26.4)	649 (47.9)	188 (13.9)	24 (1.8)	7 (0.5)	1,354 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位：()内は%

構成比	親族世帯全体(69.0)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(58.1)				その他の親族世帯				
	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯					
	(19.7)	(29.1)	(1.5)	(7.8)	(10.9)	(0.8)	(29.8)	(0.5)	(100.0)

(注)上記構成比は、平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1(3) 同居の子どもの有無

単位：上段は人、下段の()内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	589 (43.5)	667 (49.3)	98 (7.2)	1,354 (100.0)

■問 1 (4) 子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大 学、大学院 専門学校 などの 学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	115 (19.5)	111 (18.8)	80 (13.6)	92 (15.6)	72 (12.2)	275 (46.7)	19 (3.2)	3 (0.5)	589 (100.0)

■問 1 (5) 居住地（県民局）

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 （岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町）	621 (45.9)	1,184 (47.4)
備中地域 （倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、 早島町、里庄町、矢掛町）	554 (40.9)	1,009 (40.4)
美作地域 （津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、 西粟倉村、久米南町、美咲町）	176 (13.0)	307 (12.3)
無回答	3 (0.2)	
合計	1,354 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (6) 居住地（医療圏域）

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

地 域	回答者数	配布者数
県南東部 （岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町）	621 (45.9)	1,184 (47.4)
県南西部 （倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、 矢掛町）	502 (37.1)	926 (37.0)
高梁・新見 （高梁市、新見市）	52 (3.8)	83 (3.3)
真庭 （真庭市、新庄村）	48 (3.5)	65 (2.6)
津山・英田 （津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、 美咲町）	128 (9.5)	242 (9.7)
無回答	3 (0.2)	
合計	1,354 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (7) 県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	無回答	計
構成比	40 (3.0)	38 (2.8)	112 (8.3)	1,159 (85.6)	5 (0.4)	1,354 (100.0)

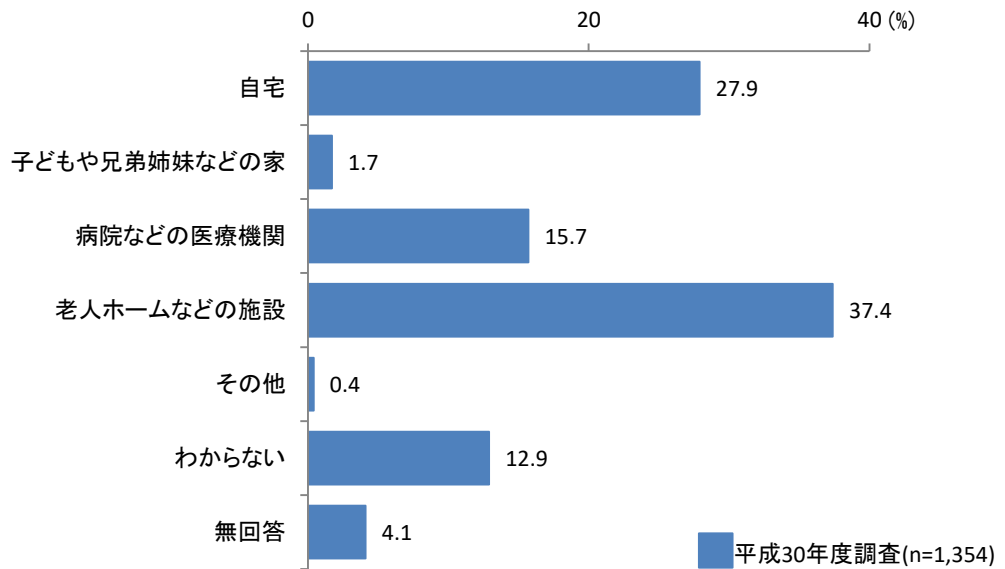
■問 1 (8) 職業

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

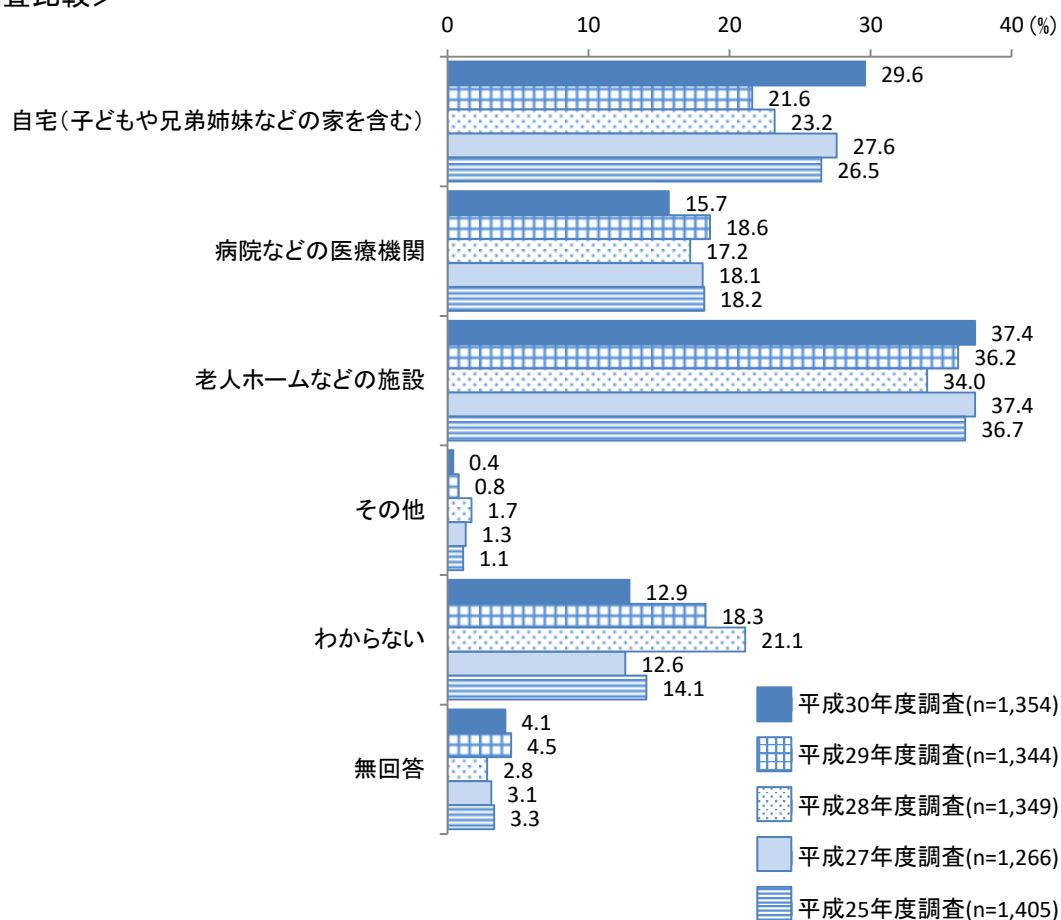
	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正 社員(正職 員)	会社・団体 などの役 員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	125 (9.2)	374 (27.6)	37 (2.7)	251 (18.5)	183 (13.5)	33 (2.4)	345 (25.5)	6 (0.4)	1,354 (100.0)

2 人生の最終段階における医療等について

- 問 15 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態（自分一人では身の回りのことをするのが困難）になった場合、どこで介護を受けたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



<類似調査比較>



○前年度との比較

◆上昇

「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」(前年度差 8.0)

「老人ホームなどの施設」(前年度差 1.2)

◆低下

「病院などの医療機関」(前年度差 ▲2.9)

「その他」(前年度差 ▲0.4)

「わからない」(前年度差 ▲5.4)

※前年度までの調査結果と比較するため、「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」は本年度調査の「自宅」と「子どもや兄弟姉妹などの家」を合わせた割合で表記している。

【介護を受けたい場所】

(%)

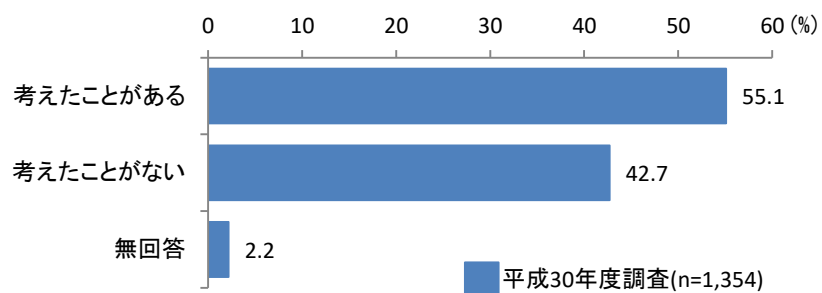
	全体	自宅	子どもや兄弟姉妹などの家	病院などの医療機関	設老人ホームなどの施設	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,354	27.9	1.7	15.7	37.4	0.4	12.9	4.1
性別	男性 n= 549	31.1	1.5	13.5	35.7	0.4	14.0	3.8
	女性 n= 710	24.5	2.1	16.3	41.1	0.3	12.0	3.7
年齢階層	10歳代 n= 17	29.4	5.9	17.6	29.4	0.0	11.8	5.9
	20歳代 n= 104	25.0	1.9	9.6	48.1	1.0	14.4	0.0
	30歳代 n= 157	21.0	0.6	11.5	47.1	0.0	16.6	3.2
	40歳代 n= 191	23.0	1.6	13.1	42.4	1.0	16.8	2.1
	50歳代 n= 214	29.9	1.9	12.6	39.7	0.5	14.0	1.4
	60歳代 n= 270	28.1	2.2	18.5	36.3	0.4	11.1	3.3
世帯構成	70歳以上 n= 399	32.6	1.5	19.3	28.6	0.0	9.8	8.3
	ひとり暮らし n= 129	24.8	3.9	16.3	40.3	0.0	9.3	5.4
	夫婦のみ n= 357	26.1	1.7	20.7	34.5	0.3	10.9	5.9
	親・子の二世帯 n= 649	28.8	1.4	13.1	40.7	0.3	13.1	2.6
同居の子ども	親・子・孫の三世帯 n= 188	33.0	1.1	14.4	30.3	0.0	16.5	4.8
	子どもがいる n= 589	29.5	1.9	14.1	38.7	0.3	12.1	3.4
	子どもはいない n= 667	27.4	1.6	16.3	36.9	0.4	12.9	4.3
居住地域① (県民局)	その他 n= 24	16.7	4.2	8.3	41.7	8.3	16.7	4.2
	備前地域 n= 621	29.6	2.1	16.3	36.7	0.5	10.8	4.0
	備中地域 n= 554	27.8	1.6	14.8	36.5	0.2	15.0	4.2
居住地域② (医療圏域)	美作地域 n= 176	22.7	0.6	14.8	43.8	0.6	13.6	4.0
	県南東部 n= 621	29.6	2.1	16.3	36.7	0.5	10.8	4.0
	県南西部 n= 502	28.3	1.2	14.3	36.5	0.2	15.1	4.4
	高梁・新見 n= 52	23.1	5.8	19.2	36.5	0.0	13.5	1.9
	真庭 n= 48	31.3	0.0	14.6	43.8	2.1	4.2	4.2
居住年数	津山・英田 n= 128	19.5	0.8	14.8	43.8	0.0	17.2	3.9
	5年未満 n= 40	25.0	7.5	7.5	47.5	0.0	10.0	2.5
	5年以上10年未満 n= 38	18.4	0.0	21.1	28.9	0.0	18.4	13.2
	10年以上20年未満 n= 112	25.9	4.5	14.3	36.6	0.9	13.4	4.5
職業	20年以上 n= 1,159	28.5	1.3	15.7	37.6	0.3	12.8	3.8
	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 125	39.2	2.4	8.8	32.8	0.8	10.4	5.6
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 374	27.5	1.1	12.0	41.7	0.5	15.8	1.3
	会社・団体などの役員 n= 37	24.3	2.7	16.2	51.4	0.0	2.7	2.7
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 251	21.9	1.6	17.1	43.4	0.4	13.5	2.0
	専業主婦(主夫) n= 183	22.4	1.6	19.7	41.0	0.0	12.0	3.3
	学生 n= 33	24.2	9.1	6.1	42.4	0.0	15.2	3.0
無職 n= 345	32.8	1.4	18.6	27.0	0.3	11.3	8.7	

○介護を受けたい場所について

全体では「老人ホームなどの施設」との回答が最も高く、次いで「自宅」、「病院などの医療機関」などの順となっている。

性別でみてもこの傾向は同じだが、「老人ホームなどの施設」は女性、「自宅」は男性のほうが割合が高くなっている。年齢階層別にみると、「老人ホームなどの施設」との回答は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられ、「70歳以上」では「自宅」が最も高くなっている。世帯構成別にみると、親・子・孫の三世帯世帯のみ「自宅」が最も高くなっている。

■問 16 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、これまでに考えたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



【死が近い場合の医療について考えた経験】

(%)

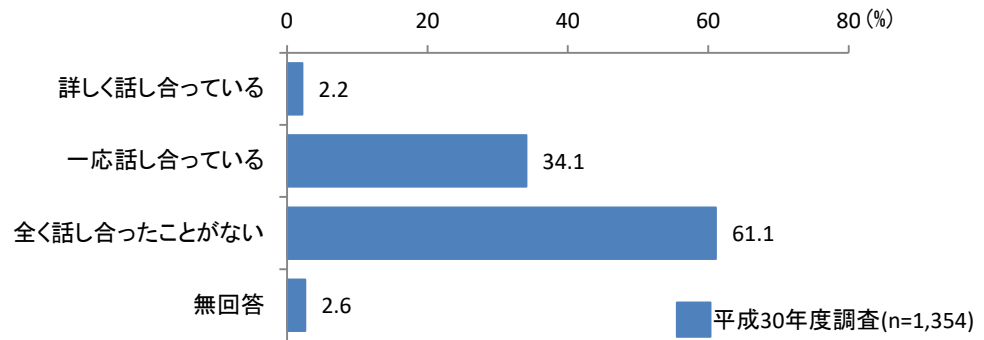
		全 体	考 え た こ と が あ る	考 え た こ と が な い	無 回 答
全体	全体	n= 1,354	55.1	42.7	2.2
性別	男性	n= 549	47.5	50.6	1.8
	女性	n= 710	61.4	36.8	1.8
年齢階層	10歳代	n= 17	52.9	41.2	5.9
	20歳代	n= 104	44.2	54.8	1.0
	30歳代	n= 157	41.4	58.0	0.6
	40歳代	n= 191	52.9	44.5	2.6
	50歳代	n= 214	59.8	39.3	0.9
	60歳代	n= 270	61.9	36.3	1.9
	70歳以上	n= 399	57.6	38.6	3.8
世帯構成	ひとり暮らし	n= 129	59.7	38.8	1.6
	夫婦のみ	n= 357	60.2	37.5	2.2
	親・子の二世帯	n= 649	51.2	47.0	1.8
	親・子・孫の三世帯	n= 188	58.0	38.3	3.7
	その他	n= 24	37.5	58.3	4.2
同居の子ども	子どもがいる	n= 589	56.2	41.8	2.0
	子どもはいない	n= 667	54.9	42.7	2.4
居住地域① (県民局)	備前地域	n= 621	58.9	39.1	1.9
	備中地域	n= 554	50.5	46.8	2.7
	美作地域	n= 176	56.3	42.0	1.7
居住地域② (医療圏域)	県南東部	n= 621	58.9	39.1	1.9
	県南西部	n= 502	50.0	47.4	2.6
	高梁・新見	n= 52	55.8	40.4	3.8
	真庭	n= 48	58.3	39.6	2.1
	津山・英田	n= 128	55.5	43.0	1.6
居住年数	5年未満	n= 40	40.0	57.5	2.5
	5年以上10年未満	n= 38	60.5	36.8	2.6
	10年以上20年未満	n= 112	57.1	42.0	0.9
	20年以上	n= 1,159	55.2	42.5	2.3
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)	n= 125	54.4	40.8	4.8
	会社・団体などの正社員(正職員)	n= 374	47.1	51.1	1.9
	会社・団体などの役員	n= 37	59.5	40.5	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など	n= 251	55.8	43.0	1.2
	専業主婦(主夫)	n= 183	65.0	33.9	1.1
	学生	n= 33	60.6	36.4	3.0
	無職	n= 345	57.4	39.4	3.2

○死が近い場合の医療について考えた経験

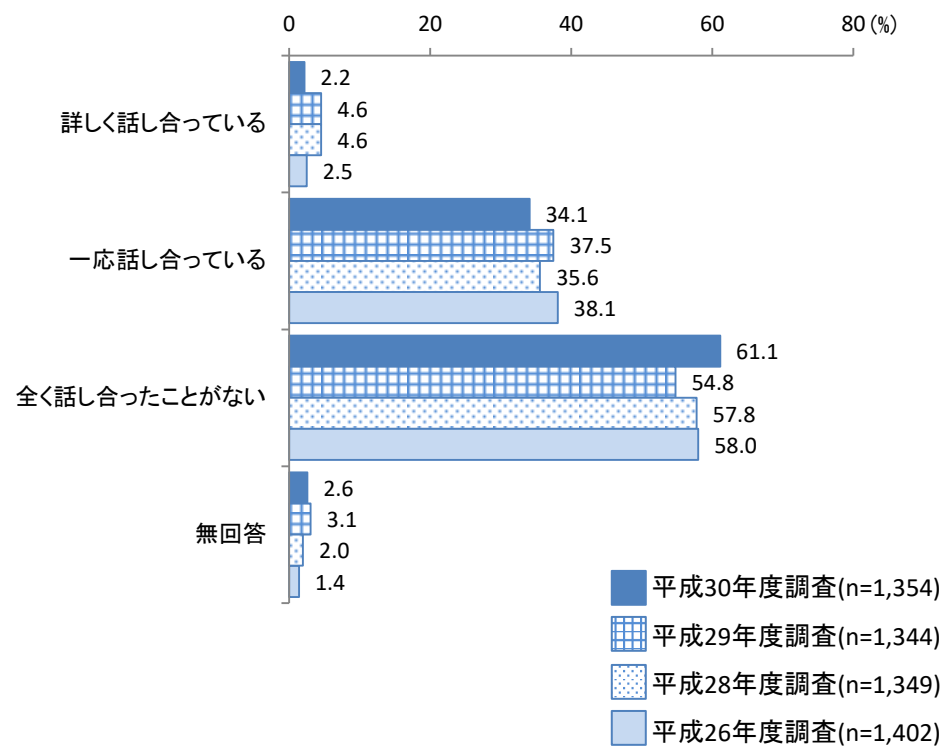
全体では「考えたことがある」(55.1%)が「考えたことがない」(42.7%)を10.0ポイント以上上回っている。

性別で見ると、男性は「考えたことがない」のほうが高くなっており、女性に比べ男性の関心が低いことがうかがえる。年齢階層別にみると、40歳以上で「考えたことがある」との回答が高くなっており、若い世代と比べ関心が高くなっている。また、職業別では「専業主婦(主夫)」で、「考えたことがある」が「考えたことがない」の約2倍となっており、最も大きく上回っている。

■問 17 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族や医療介護関係者などどのくらい話し合ったことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



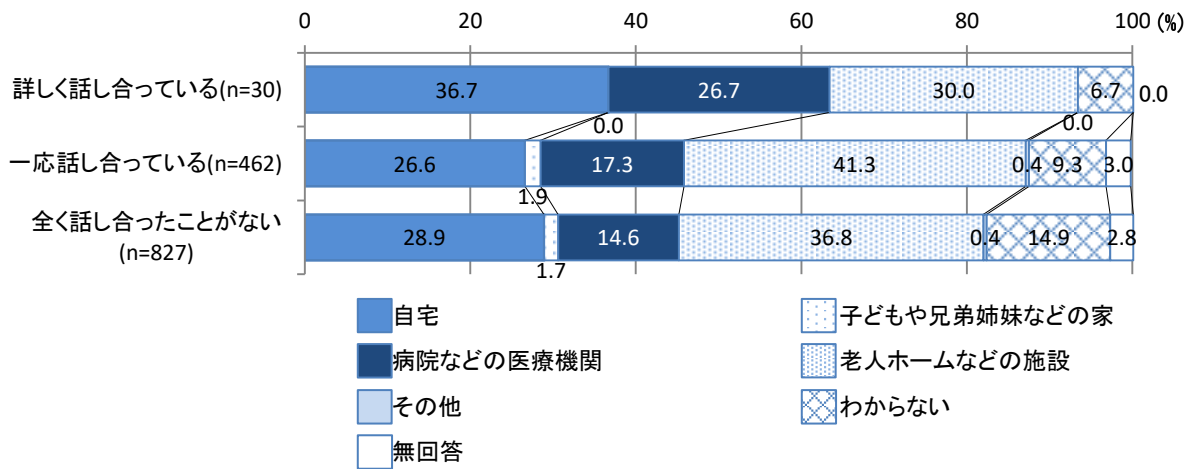
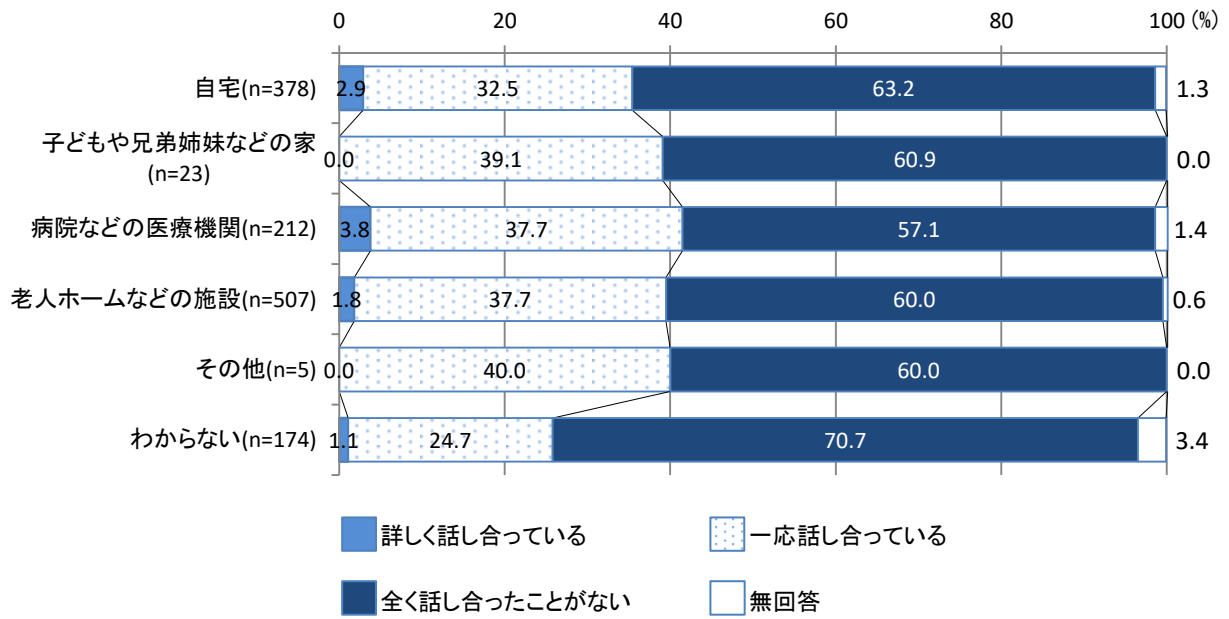
<類似調査比較>



○前年度との比較

- ◆上昇
「全く話し合ったことがない」(前年度差 6.3)
- ◆低下
「詳しく話し合っている」(前年度差▲2.4)
「一応話し合っている」(前年度差▲3.4)

<問 15 とのクロス集計>



【死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い】

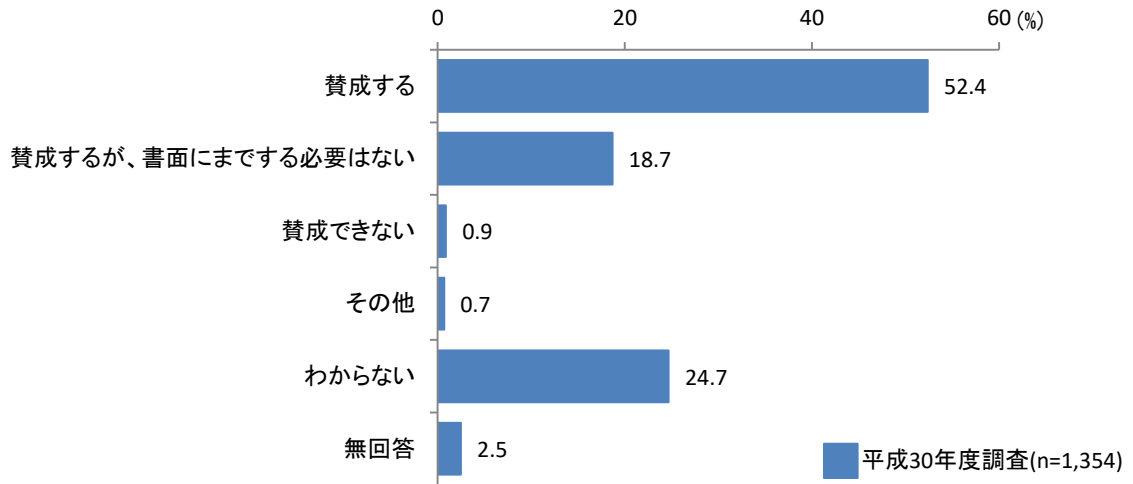
(%)

		全 体	詳 しく 話 し 合 っ て い る	一 応 話 し 合 っ て い る	全 く 話 し 合 っ た こ と が な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,354	2.2	34.1	61.1	2.6	
性別	男性 n= 549	1.1	29.9	67.2	1.8	
	女性 n= 710	3.1	38.2	56.3	2.4	
年齢階層	10歳代 n= 17	0.0	23.5	70.6	5.9	
	20歳代 n= 104	1.9	18.3	78.8	1.0	
	30歳代 n= 157	1.3	22.3	75.8	0.6	
	40歳代 n= 191	2.1	29.3	66.0	2.6	
	50歳代 n= 214	3.7	32.7	62.1	1.4	
	60歳代 n= 270	1.9	41.1	54.8	2.2	
	70歳以上 n= 399	2.3	41.6	51.6	4.5	
世帯構成	ひとり暮らし n= 129	0.8	34.9	59.7	4.7	
	夫婦のみ n= 357	3.1	42.6	51.8	2.5	
	親・子の二世帯 n= 649	2.3	29.3	66.9	1.5	
	親・子・孫の三世帯 n= 188	1.6	35.6	58.0	4.8	
	その他 n= 24	0.0	20.8	75.0	4.2	
同居の子ども	子どもがいる n= 589	2.0	35.0	61.1	1.9	
	子どもはいない n= 667	2.5	33.1	61.5	2.8	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 621	1.9	34.5	60.9	2.7	
	備中地域 n= 554	2.3	32.7	62.3	2.7	
	美作地域 n= 176	2.8	36.9	58.5	1.7	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 621	1.9	34.5	60.9	2.7	
	県南西部 n= 502	2.0	31.9	63.3	2.8	
	高梁・新見 n= 52	5.8	40.4	51.9	1.9	
	真庭 n= 48	0.0	37.5	60.4	2.1	
	津山・英田 n= 128	3.9	36.7	57.8	1.6	
居住年数	5年未満 n= 40	0.0	27.5	67.5	5.0	
	5年以上10年未満 n= 38	5.3	36.8	55.3	2.6	
	10年以上20年未満 n= 112	4.5	27.7	67.0	0.9	
	20年以上 n= 1,159	2.0	34.8	60.6	2.7	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業員を含む) n= 125	2.4	40.0	52.8	4.8	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 374	1.1	24.3	72.7	1.9	
	会社・団体などの役員 n= 37	8.1	37.8	54.1	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 251	3.2	35.5	60.2	1.2	
	専業主婦(主夫) n= 183	3.3	41.0	54.1	1.6	
	学生 n= 33	3.0	18.2	75.8	3.0	
	無職 n= 345	1.4	38.8	55.4	4.3	

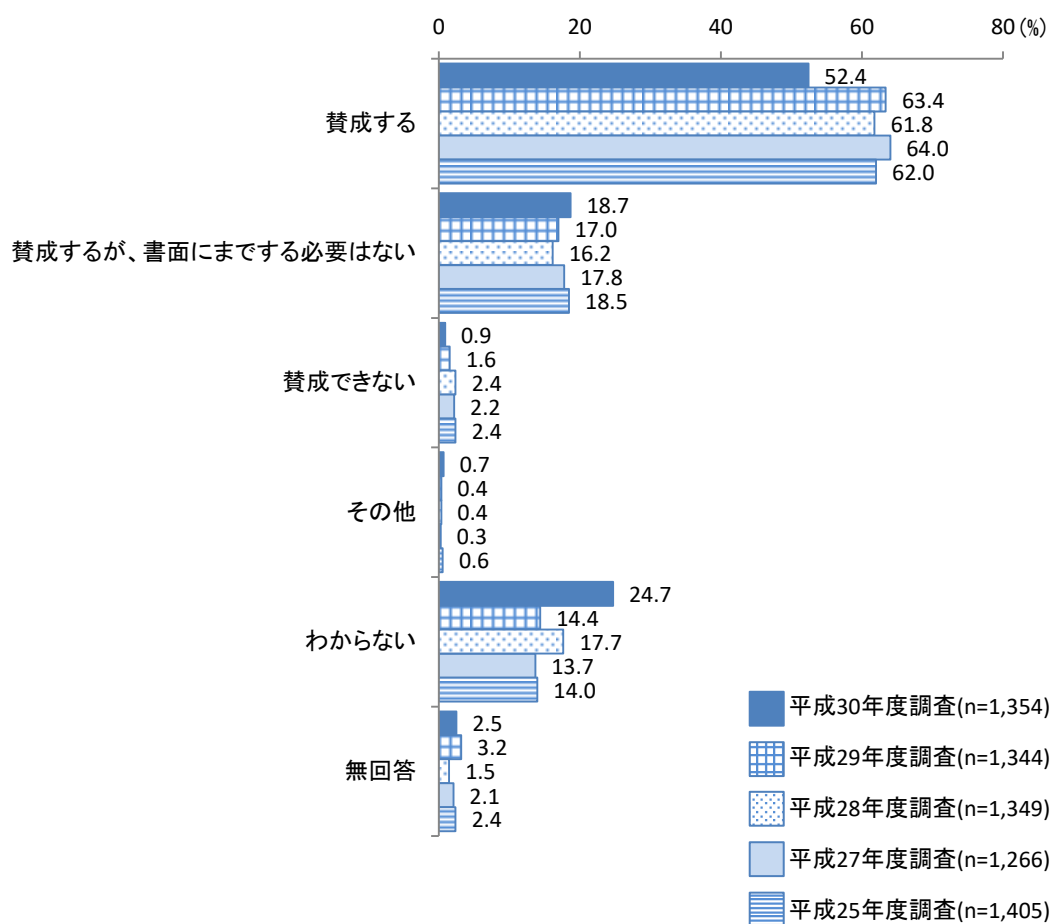
○死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合いについて

全体では「全く話し合ったことがない」との回答が6割を超え高くなっている。
性別で見ると、男性のほうが「全く話し合ったことがない」の割合が高くなっている。
年齢階層別にみると、「全く話し合ったことがない」は年齢が上がるにつれて低くなっており、「詳しく話し合っている」、「一応話し合っている」が高くなっている。

■問 18 自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル、事前指示書などと呼ばれます)をあらかじめ作成しておくことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



<類似調査比較>



○前年度との比較

◆上昇

「賛成するが、書面にまでする必要はない」(前年度差 1.7)

「その他」(前年度差 0.3)

「わからない」(前年度差 10.3)

◆低下

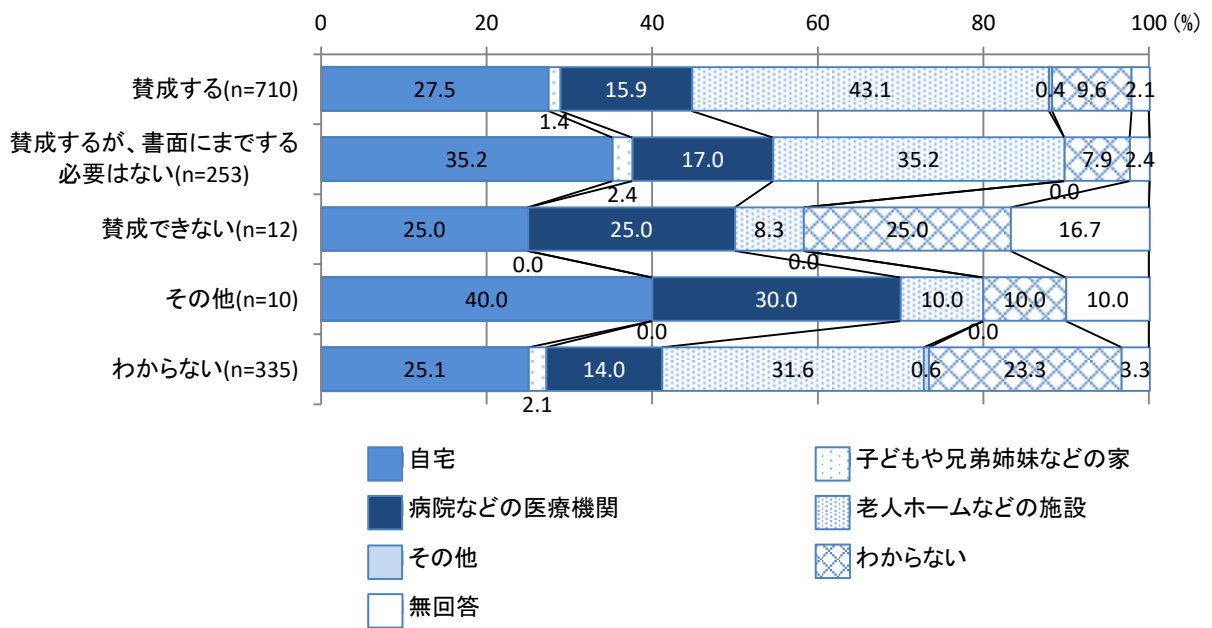
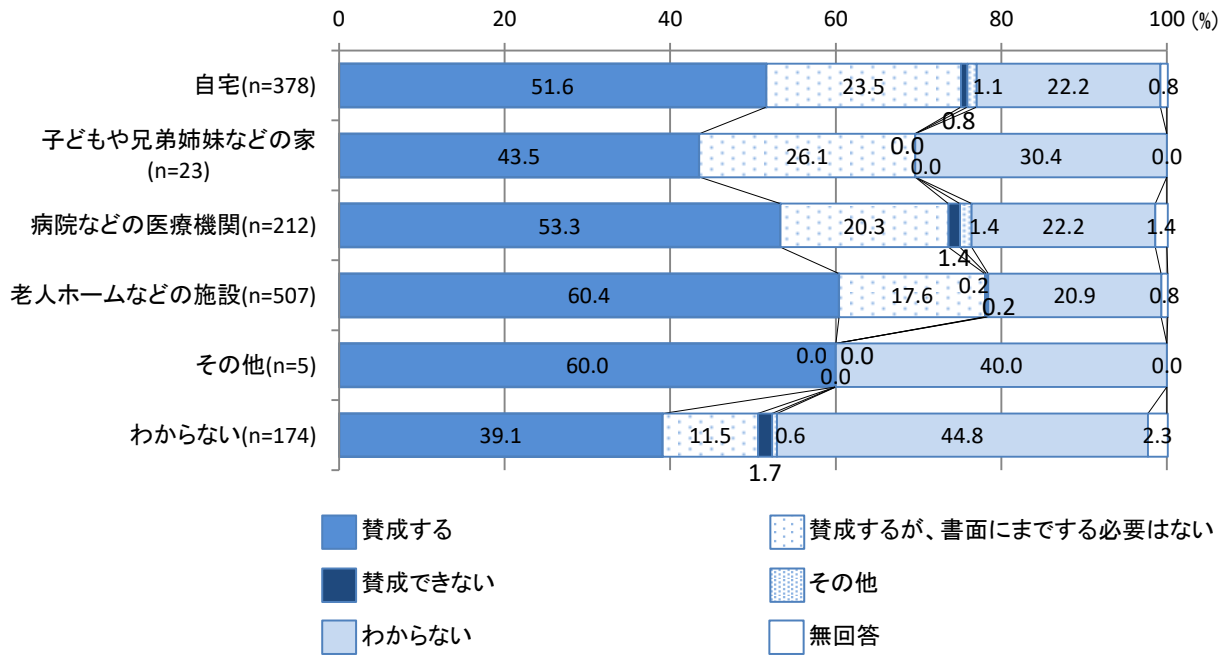
「賛成する」(前年度差▲11.0)

「賛成できない」(前年度差▲0.7)

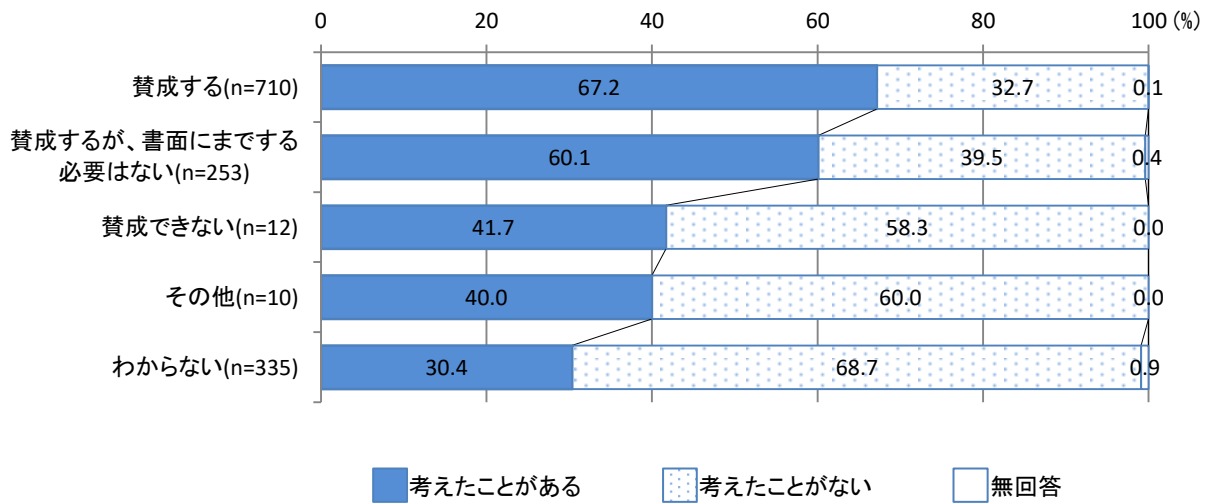
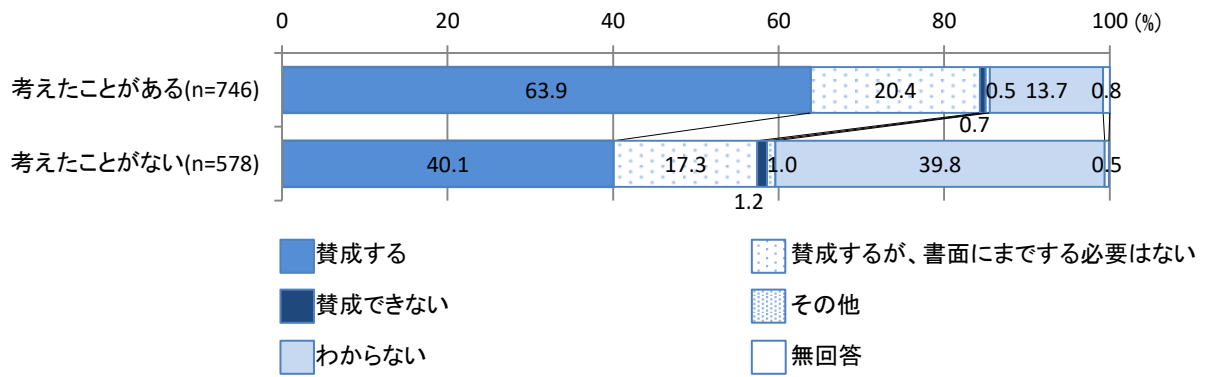
「賛成する」との回答が前年度より10ポイント以上低くなっている。また、「わからない」との回答はこれまでの調査の中で最も高く、回答者の約4人に一人が「わからない」と答えている。これは、過去調査ではみられなかった傾向であり、昨年度から本格的に始まった※ACPの普及啓発等の影響について検討が必要である。

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、「今後の治療・療養について、患者、家族と医療従事者があらかじめ話し合い、共有し合うプロセス」のこと。

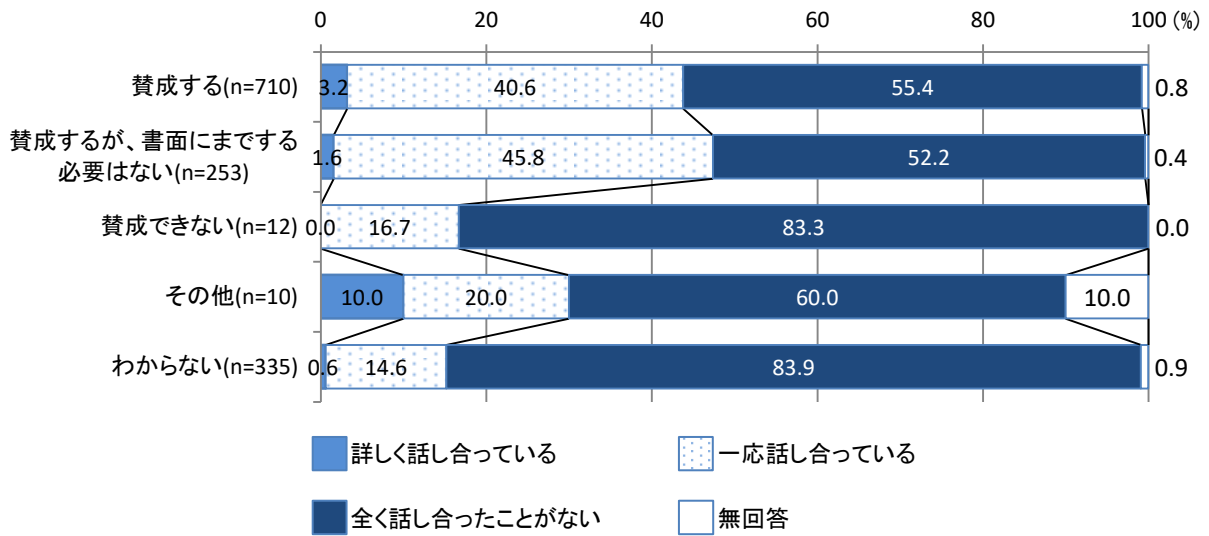
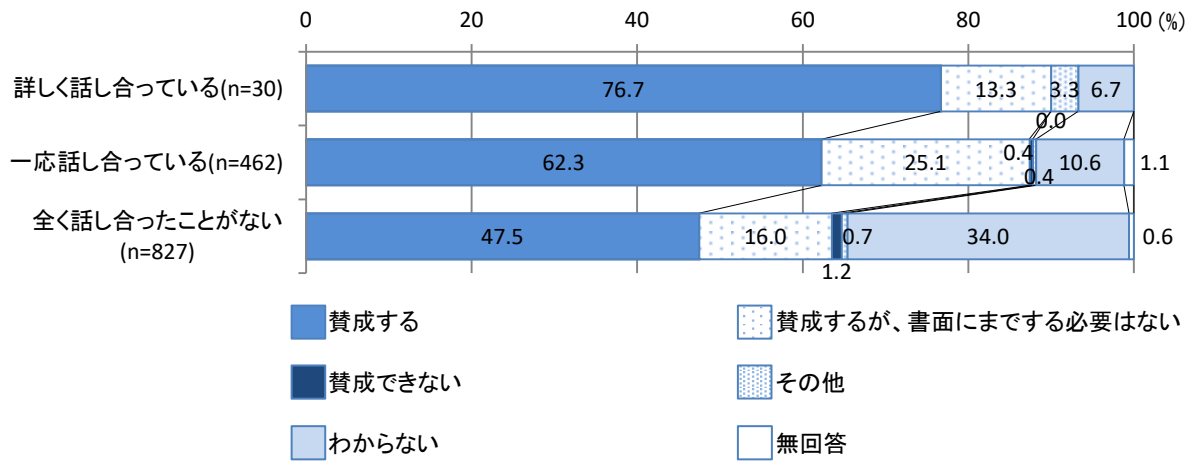
<問 15 とのクロス集計>



<問 16 とのクロス集計>



<問 17 とのクロス集計>



【意思を書面に記載しておくことに対する考え方】

		(%)						
		全 体	賛 成 す る	ま だ 賛 成 す る 必 要 は 書 面 に	賛 成 で き な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,354	52.4	18.7	0.9	0.7	24.7	2.5	
性別	男性 n= 549	45.7	22.6	1.3	0.7	27.3	2.4	
	女性 n= 710	59.9	16.1	0.6	0.8	20.8	1.8	
年齢階層	10歳代 n= 17	52.9	17.6	0.0	0.0	23.5	5.9	
	20歳代 n= 104	56.7	8.7	1.0	1.0	30.8	1.9	
	30歳代 n= 157	57.3	10.8	0.6	0.6	29.9	0.6	
	40歳代 n= 191	56.0	16.8	0.5	0.0	24.6	2.1	
	50歳代 n= 214	67.3	13.1	0.5	0.5	17.3	1.4	
	60歳代 n= 270	48.9	26.7	1.1	0.7	20.4	2.2	
世帯構成	70歳以上 n= 399	42.4	22.6	1.3	1.3	28.3	4.3	
	ひとり暮らし n= 129	55.8	14.7	3.1	1.6	23.3	1.6	
	夫婦のみ n= 357	53.8	22.4	0.3	0.8	19.3	3.4	
	親・子の二世帯 n= 649	52.2	17.4	0.6	0.6	27.4	1.7	
	親・子・孫の三世帯 n= 188	49.5	18.6	1.1	0.5	26.1	4.3	
同居の子ども	その他 n= 24	50.0	12.5	0.0	0.0	33.3	4.2	
	子どもがいる n= 589	54.5	19.0	0.5	0.5	22.9	2.5	
居住地域① (県民局)	子どもはいない n= 667	52.0	17.4	0.9	1.0	26.1	2.5	
	備前地域 n= 621	55.1	18.5	1.0	1.0	22.1	2.4	
	備中地域 n= 554	47.8	19.1	1.1	0.7	28.2	3.1	
	美作地域 n= 176	58.0	17.0	0.0	0.0	23.9	1.1	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 621	55.1	18.5	1.0	1.0	22.1	2.4	
	県南西部 n= 502	47.2	19.3	1.0	0.8	28.7	3.0	
	高梁・新見 n= 52	53.8	17.3	1.9	0.0	23.1	3.8	
	真庭 n= 48	47.9	22.9	0.0	0.0	27.1	2.1	
	津山・英田 n= 128	61.7	14.8	0.0	0.0	22.7	0.8	
居住年数	5年未満 n= 40	62.5	15.0	0.0	0.0	20.0	2.5	
	5年以上10年未満 n= 38	65.8	7.9	0.0	0.0	21.1	5.3	
	10年以上20年未満 n= 112	58.0	18.8	2.7	0.9	18.8	0.9	
	20年以上 n= 1,159	51.2	19.1	0.8	0.8	25.6	2.6	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 125	40.8	24.8	1.6	0.0	29.6	3.2	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 374	56.1	17.1	0.8	0.3	23.8	1.9	
	会社・団体などの役員 n= 37	56.8	24.3	0.0	2.7	16.2	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 251	61.0	15.5	0.4	0.8	21.1	1.2	
	専業主婦(主夫) n= 183	60.1	14.2	1.1	0.5	22.4	1.6	
	学生 n= 33	60.6	12.1	0.0	0.0	24.2	3.0	
	無職 n= 345	41.7	22.6	1.2	1.2	28.7	4.6	

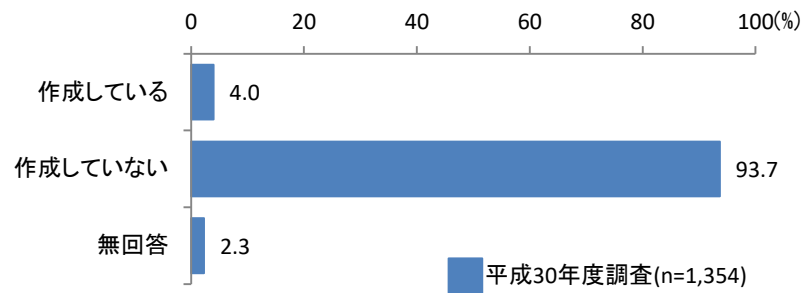
○意思を書面に記載しておくことに対する考え方について

全体では「賛成する」との回答が半数を超え最も高く、次いで「わからない」、「賛成するが、書面にまでする必要はない」などの順となっている。

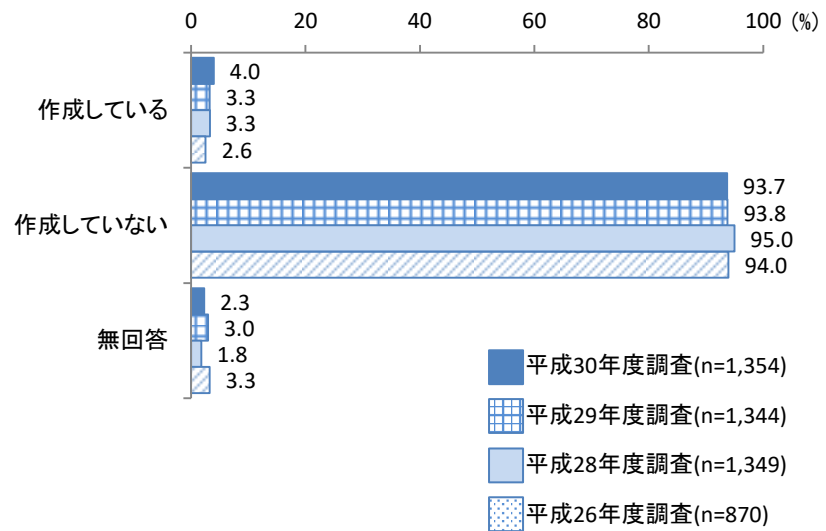
性別にみると、「賛成する」の割合は女性が男性を大きく上回っている。

年齢階層別にみると、「賛成する」との回答は「50歳代」で最も高くなっており、逆に「わからない」は「50歳代」で最も低くなり、それ以上の年齢では再び上昇傾向となる。また、「60歳代」で「賛成するが、書面にまでする必要はない」との回答がほかの年代に比べ高くなっている。居住地域②(医療圏域)別にみると、「賛成する」は最も低い「県南西部」と最も高い「津山・英田」で14.5ポイントの差があるなど、他の設問に比べて地域差が顕著である。

■問 19 あなたは実際に書面を作成していますか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



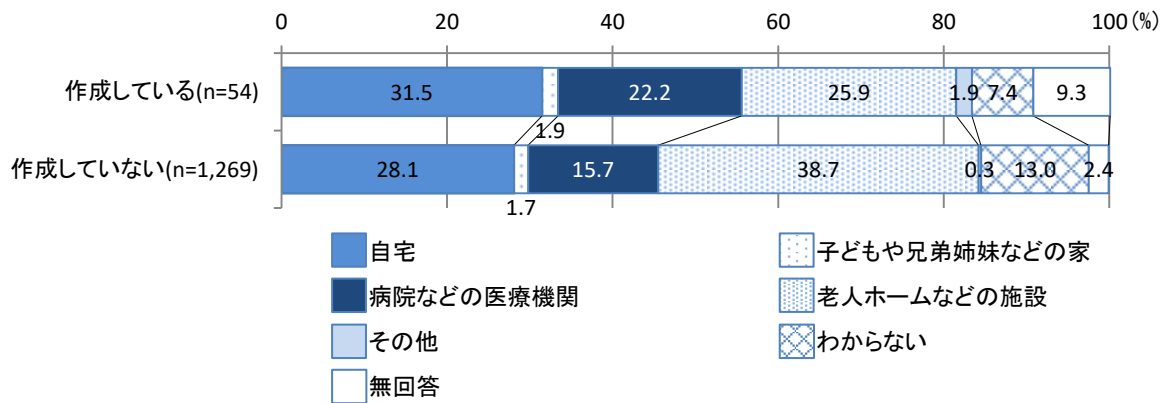
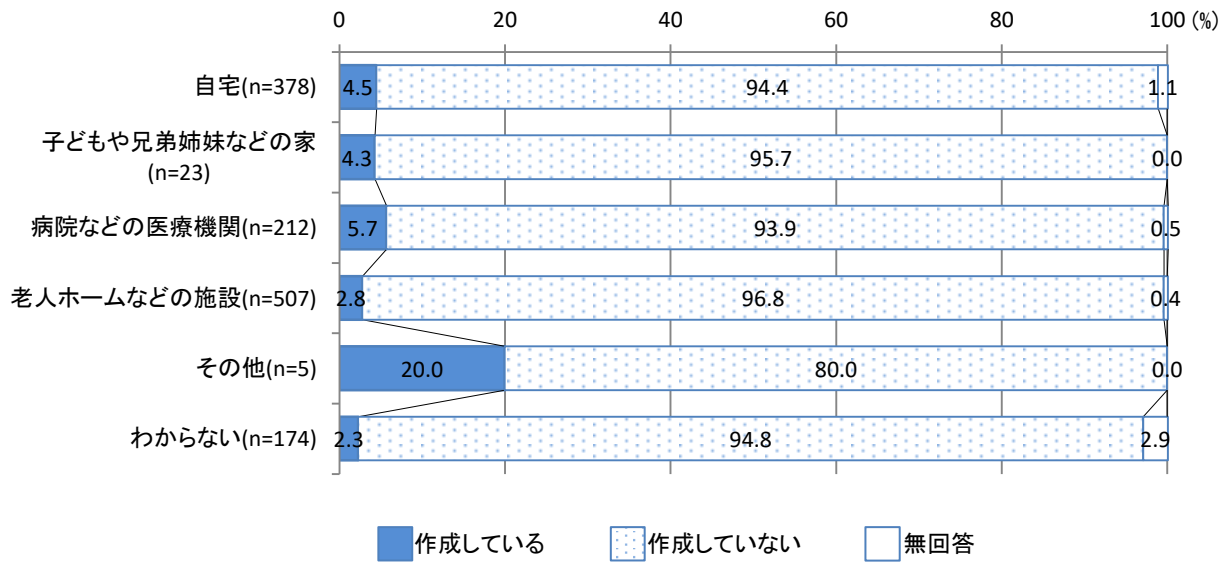
<類似調査比較>



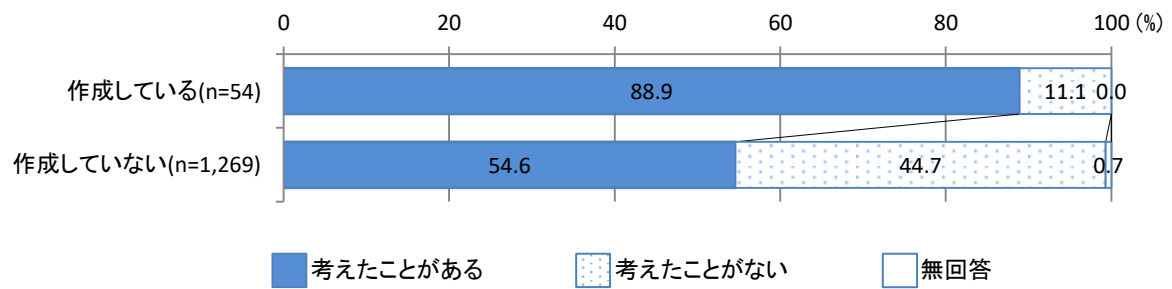
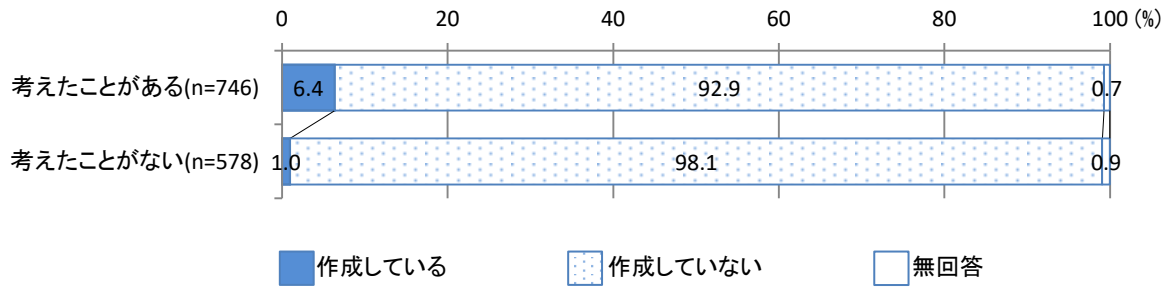
○前年度との比較

- ◆上昇
「作成している」(前年度差 0.7)
- ◆低下
「作成していない」(前年度差 ▲0.1)

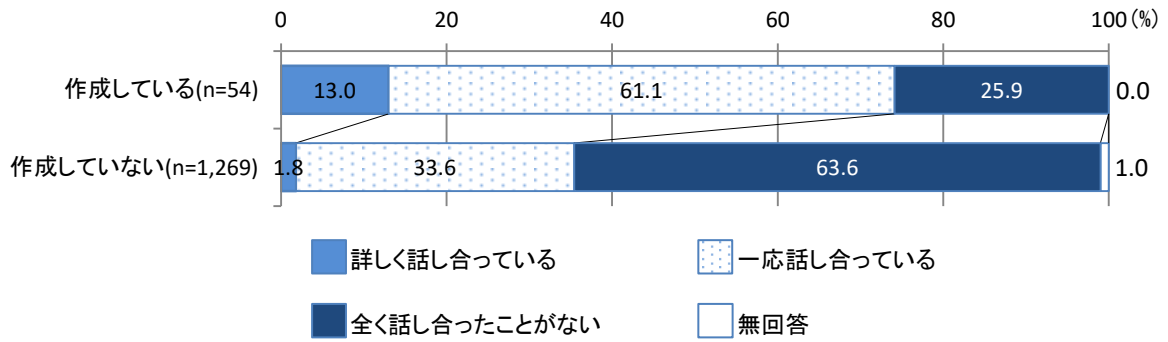
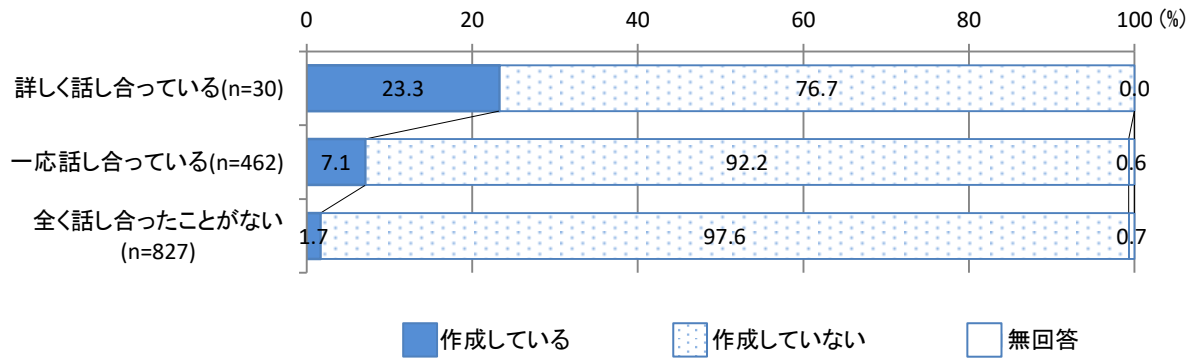
<問 15 とのクロス集計>



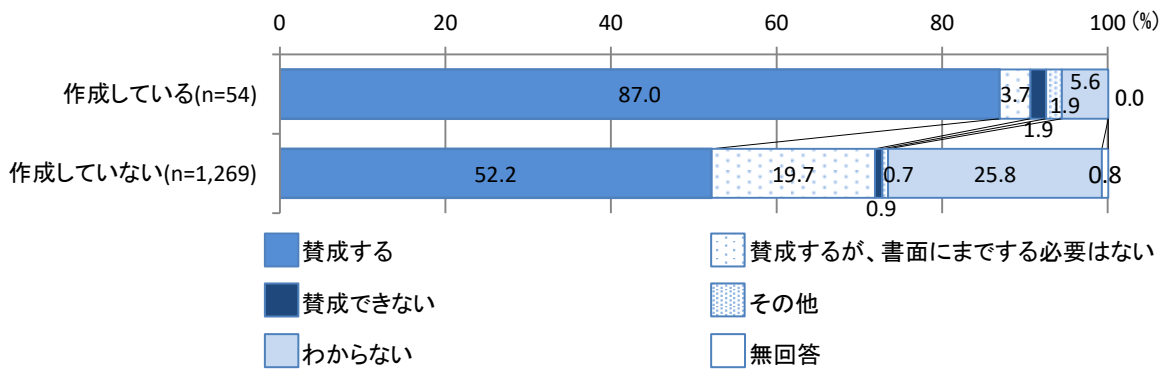
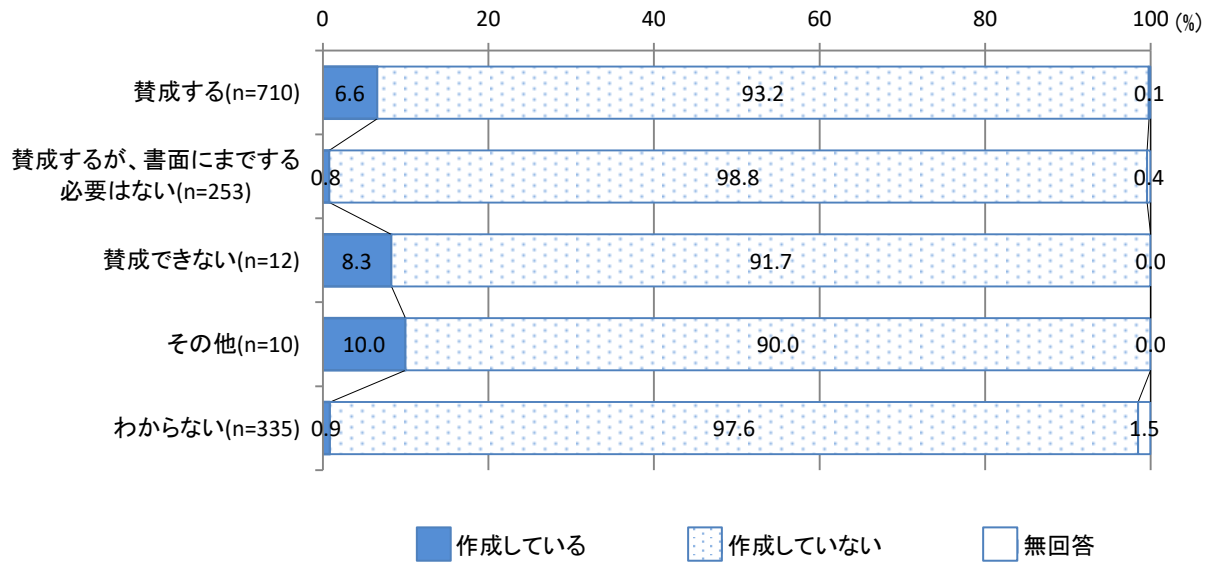
<問 16 とのクロス集計>



<問 17 とのクロス集計>



<問 18 とのクロス集計>



意思を書面に記載しておくことに「賛成する」と答えた人でも、実際に「作成している」と回答した人は1割未満と低く、関心や意識が行動に結びついていない傾向がみられる。

【意思を記載した書面の作成状況】

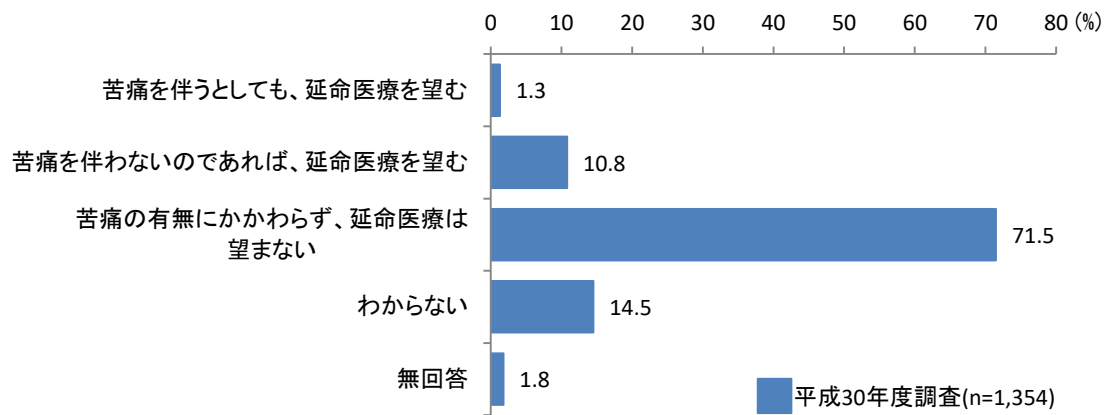
(%)

	全 体	作 成 し て い る	作 成 し て い な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,354	4.0	93.7	2.3
性別	男性 n= 549	2.6	95.4	2.0
	女性 n= 710	4.4	94.1	1.5
年齢階層	10歳代 n= 17	5.9	88.2	5.9
	20歳代 n= 104	1.9	96.2	1.9
	30歳代 n= 157	0.6	98.1	1.3
	40歳代 n= 191	1.6	96.3	2.1
	50歳代 n= 214	3.3	95.8	0.9
	60歳代 n= 270	3.7	94.8	1.5
	70歳以上 n= 399	7.5	88.5	4.0
世帯構成	ひとり暮らし n= 129	7.0	93.0	0.0
	夫婦のみ n= 357	6.2	90.5	3.4
	親・子の二世帯 n= 649	2.8	95.5	1.7
	親・子・孫の三世帯 n= 188	2.7	93.6	3.7
	その他 n= 24	0.0	95.8	4.2
同居の子ども	子どもがいる n= 589	2.9	94.7	2.4
	子どもはいない n= 667	5.1	92.8	2.1
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 621	4.8	93.2	1.9
	備中地域 n= 554	3.1	94.0	2.9
	美作地域 n= 176	4.0	94.3	1.7
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 621	4.8	93.2	1.9
	県南西部 n= 502	3.0	93.8	3.2
	高梁・新見 n= 52	3.8	96.2	0.0
	真庭 n= 48	2.1	97.9	0.0
	津山・英田 n= 128	4.7	93.0	2.3
居住年数	5年未満 n= 40	7.5	90.0	2.5
	5年以上10年未満 n= 38	7.9	89.5	2.6
	10年以上20年未満 n= 112	3.6	95.5	0.9
	20年以上 n= 1,159	3.8	93.8	2.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 125	3.2	92.0	4.8
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 374	1.3	97.1	1.6
	会社・団体などの役員 n= 37	2.7	97.3	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 251	3.2	96.0	0.8
	専業主婦(主夫) n= 183	7.1	91.3	1.6
	学生 n= 33	3.0	93.9	3.0
	無職 n= 345	6.4	89.9	3.8

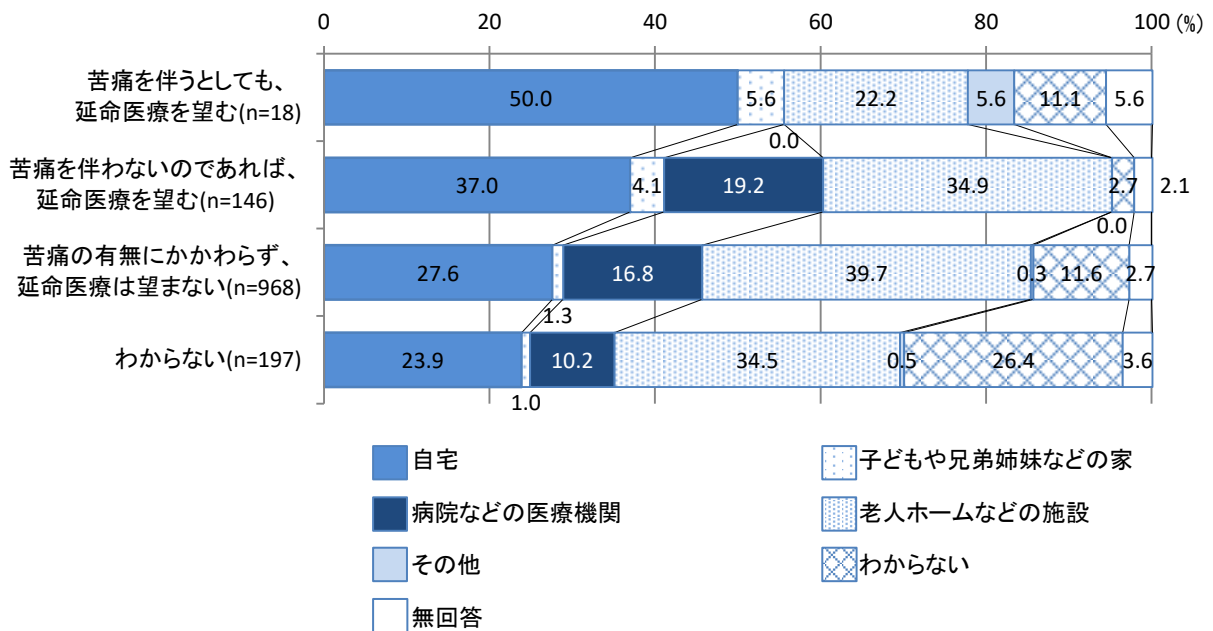
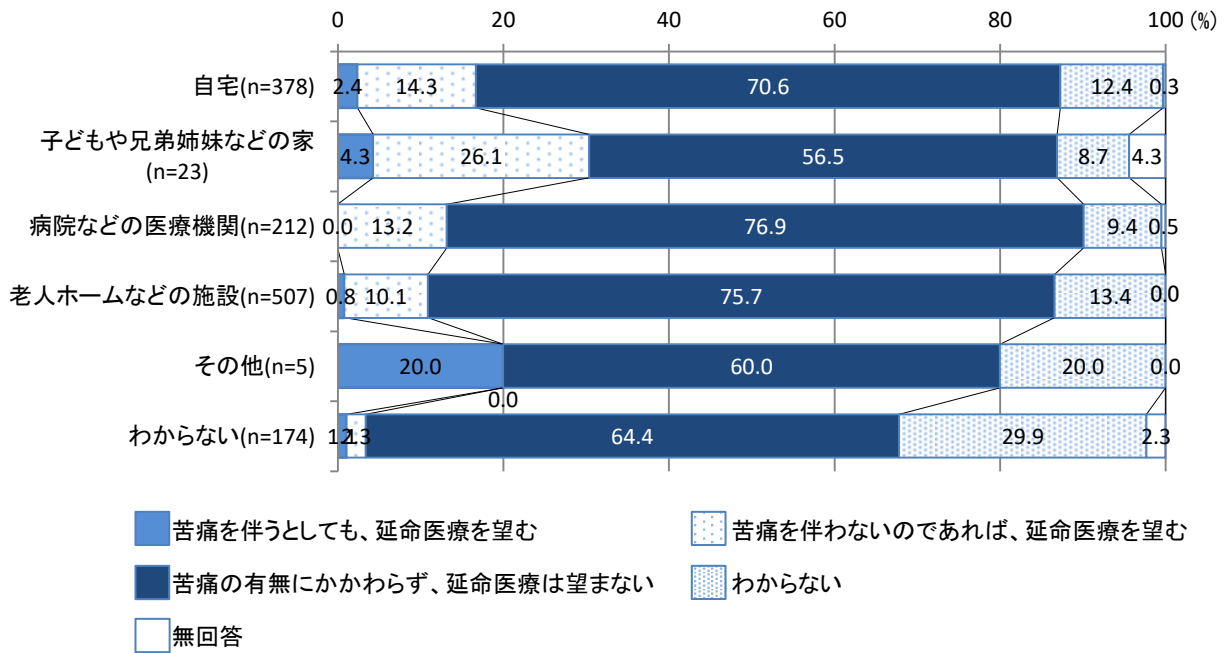
○意思を記載した書面の作成状況について

全体では「作成していない」との回答が9割代半ばと高くなっている。回答者の属性別で分析しても同様の結果となっているものの、「70歳以上」、「ひとり暮らし」、「専業主婦(主夫)」では「作成している」が比較的高くなっている。

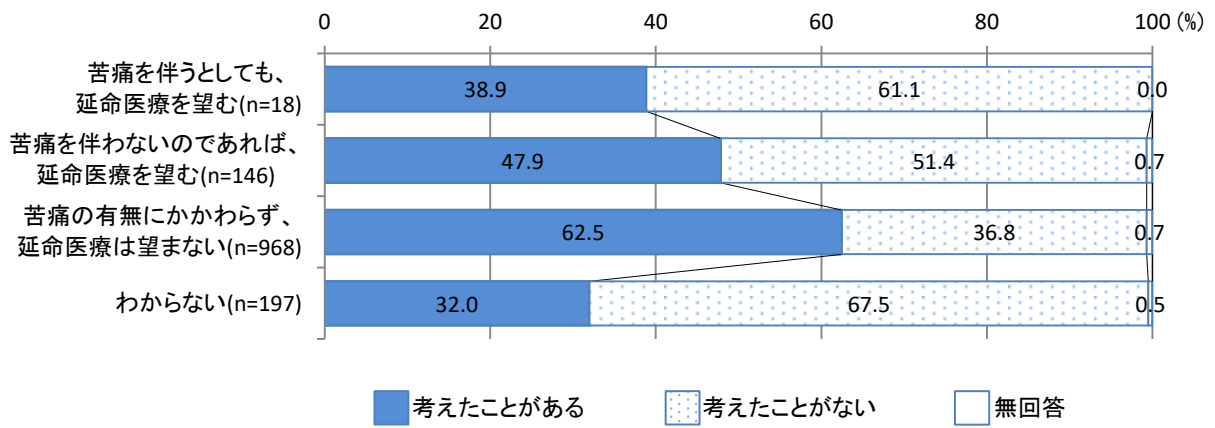
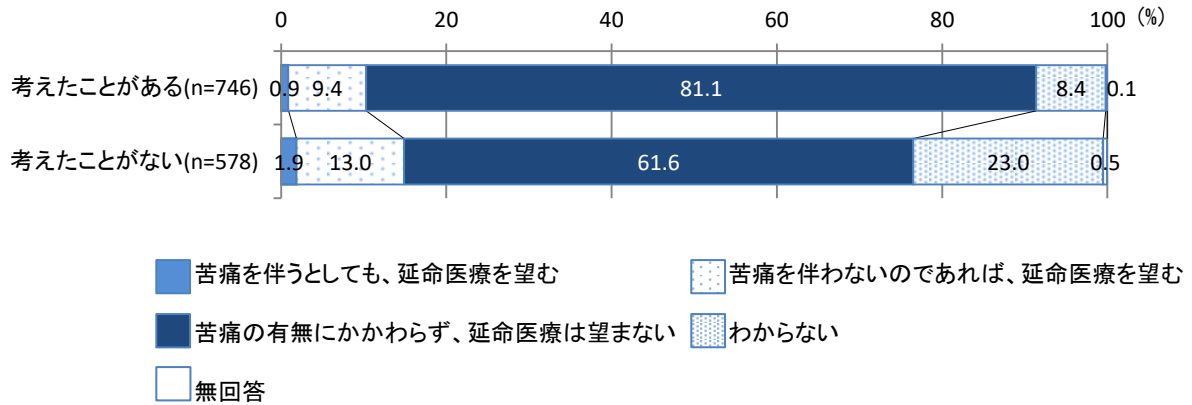
■問 20 あなたは、ご自身の死が目前に迫っており、どのような治療によっても回復する見込みがない場合に、延命医療を望みますか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



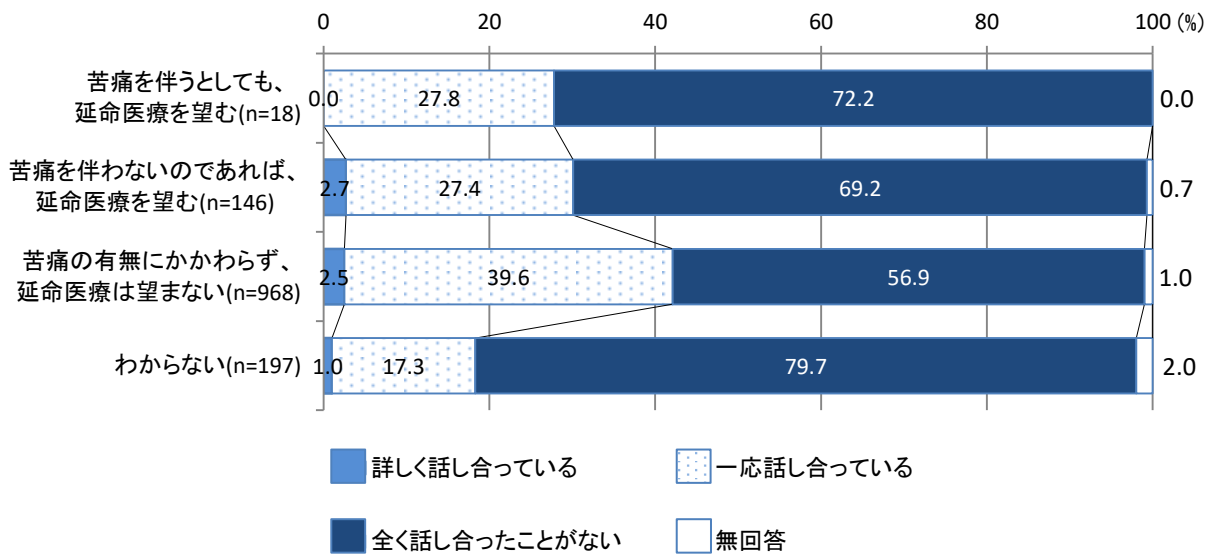
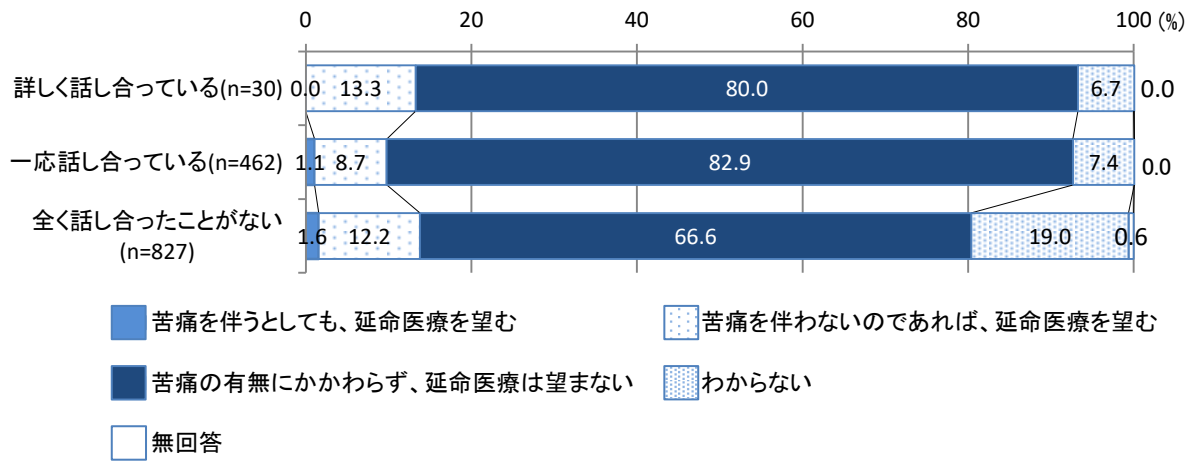
<問 15 とのクロス集計>



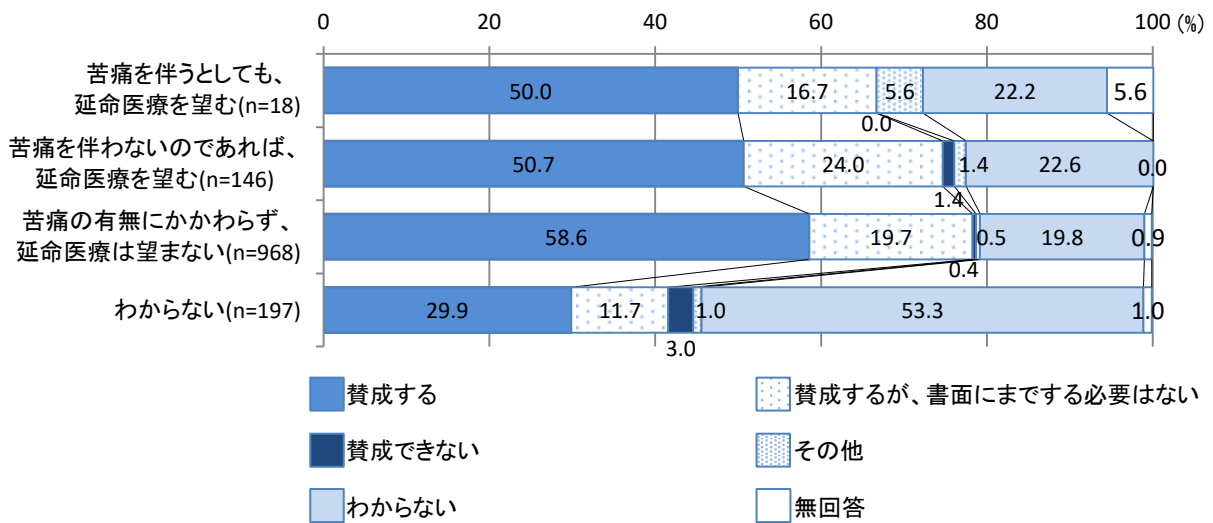
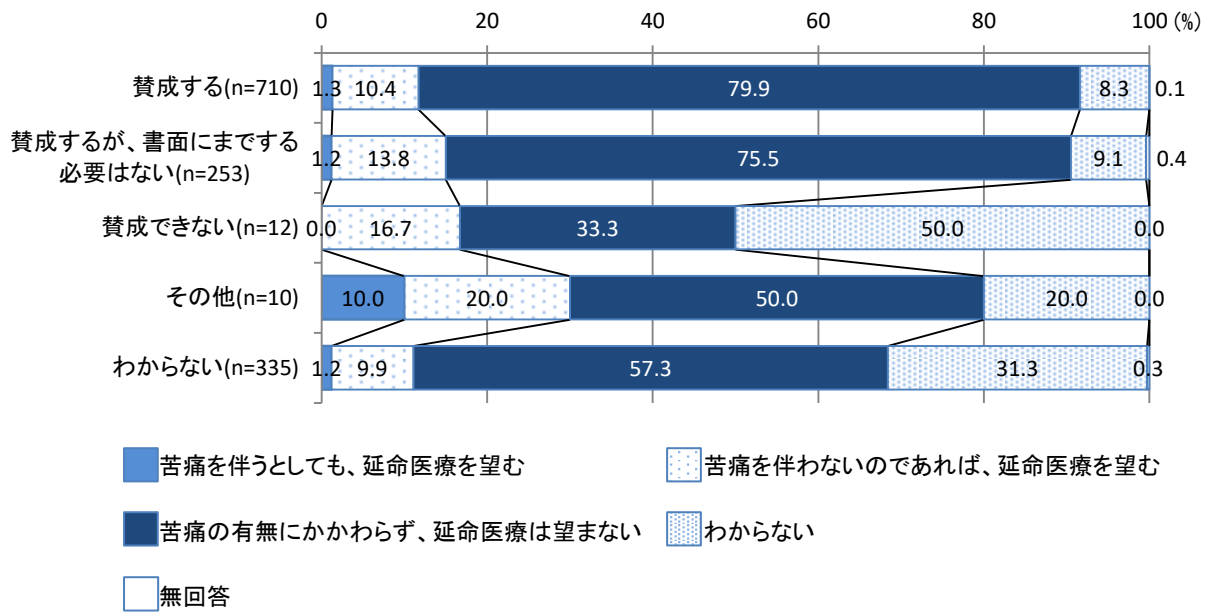
<問 16 とのクロス集計>



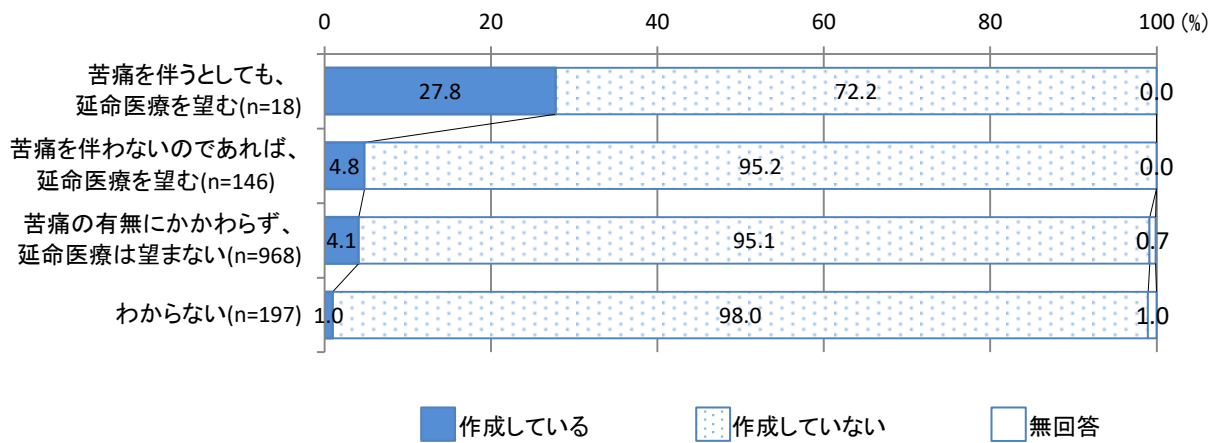
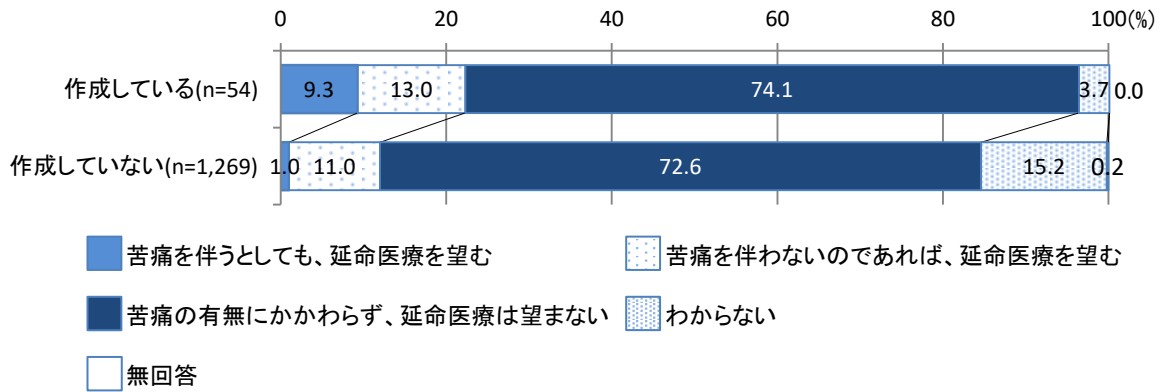
<問 17 とのクロス集計>



<問 18 とのクロス集計>



<問 19 とのクロス集計>



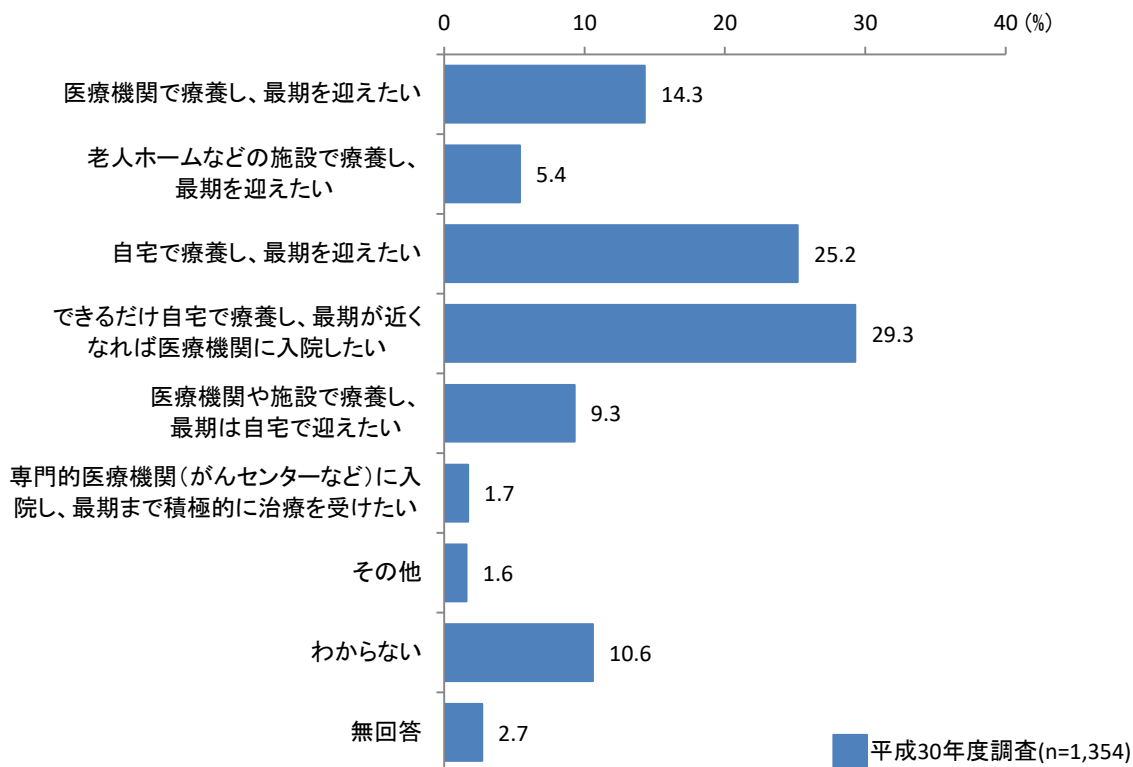
【余命が短い場合の延命医療の意向】

		(%)					
		全体	も苦痛を伴うとして望む	望む	望まぬ	望まぬ	無回答
		全体 n= 1,354	1.3	10.8	71.5	14.5	1.8
性別	男性	n= 549	1.8	11.5	68.5	16.2	2.0
	女性	n= 710	0.8	10.1	74.4	13.4	1.3
年齢階層	10歳代	n= 17	5.9	23.5	41.2	23.5	5.9
	20歳代	n= 104	4.8	20.2	51.0	22.1	1.9
	30歳代	n= 157	2.5	14.0	60.5	21.7	1.3
	40歳代	n= 191	0.5	13.1	66.5	17.8	2.1
	50歳代	n= 214	0.0	8.9	77.6	12.6	0.9
	60歳代	n= 270	0.0	9.6	77.8	11.1	1.5
	70歳以上	n= 399	1.8	7.3	77.2	11.3	2.5
世帯構成	ひとり暮らし	n= 129	0.8	13.2	65.9	20.2	0.0
	夫婦のみ	n= 357	1.1	8.7	78.4	9.5	2.2
	親・子の二世帯	n= 649	1.4	12.8	70.1	14.2	1.5
	親・子・孫の三世帯	n= 188	2.1	6.4	68.1	20.2	3.2
	その他	n= 24	0.0	12.5	58.3	25.0	4.2
同居の子ども	子どもがいる	n= 589	0.7	10.9	72.2	14.4	1.9
	子どもはいない	n= 667	1.8	11.5	70.5	14.4	1.8
居住地域① (県民局)	備前地域	n= 621	1.6	11.6	69.9	15.0	1.9
	備中地域	n= 554	1.1	10.5	72.0	14.3	2.2
	美作地域	n= 176	1.1	9.1	75.0	14.2	0.6
居住地域② (医療圏域)	県南東部	n= 621	1.6	11.6	69.9	15.0	1.9
	県南西部	n= 502	1.2	10.2	71.5	14.7	2.4
	高梁・新見	n= 52	0.0	13.5	76.9	9.6	0.0
	真庭	n= 48	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0
	津山・英田	n= 128	1.6	7.8	75.0	14.8	0.8
居住年数	5年未満	n= 40	0.0	12.5	67.5	17.5	2.5
	5年以上10年未満	n= 38	0.0	10.5	73.7	13.2	2.6
	10年以上20年未満	n= 112	3.6	18.8	59.8	16.1	1.8
	20年以上	n= 1,159	1.2	10.0	72.6	14.3	1.8
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)	n= 125	3.2	9.6	68.8	15.2	3.2
	会社・団体などの正社員(正職員)	n= 374	1.3	14.2	64.4	18.2	1.9
	会社・団体などの役員	n= 37	0.0	10.8	83.8	5.4	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など	n= 251	0.4	13.1	74.5	11.2	0.8
	専業主婦(主夫)	n= 183	0.5	6.6	79.8	12.0	1.1
	学生	n= 33	9.1	12.1	57.6	18.2	3.0
	無職	n= 345	1.2	8.1	73.3	14.8	2.6

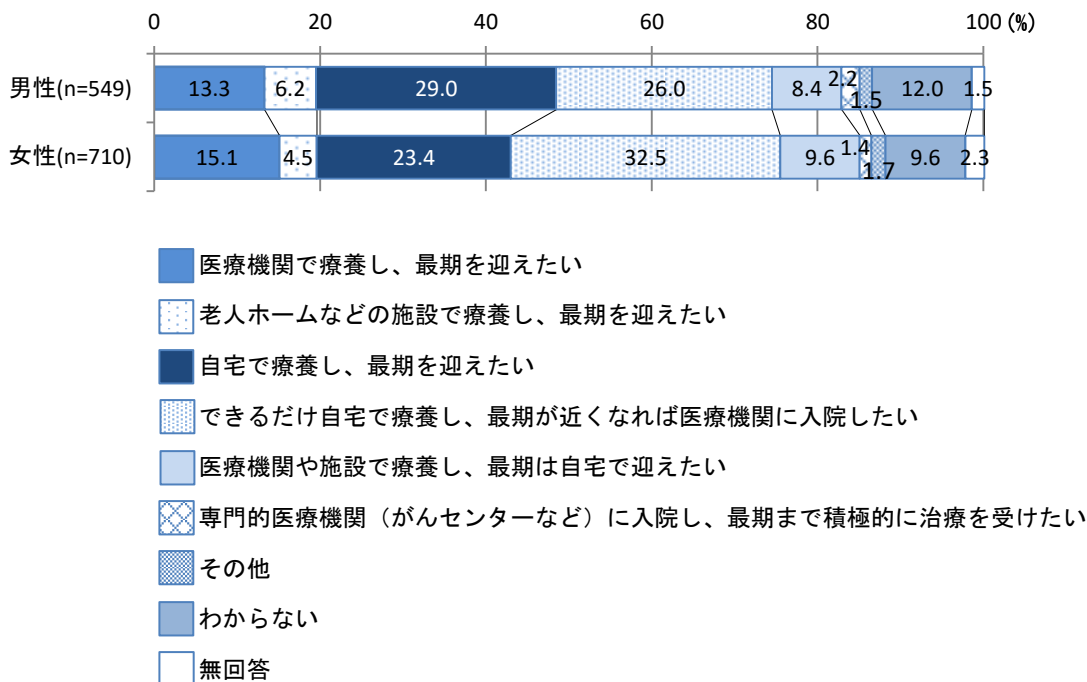
○余命が短い場合の延命医療の意向について

全体では「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答が7割を超え最も高くなっている。年齢階層別にみると、年齢が上がるにつれて「苦痛が伴わないのであれば、延命医療を望む」との回答は低くなり、「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」が高くなる傾向がみられる。

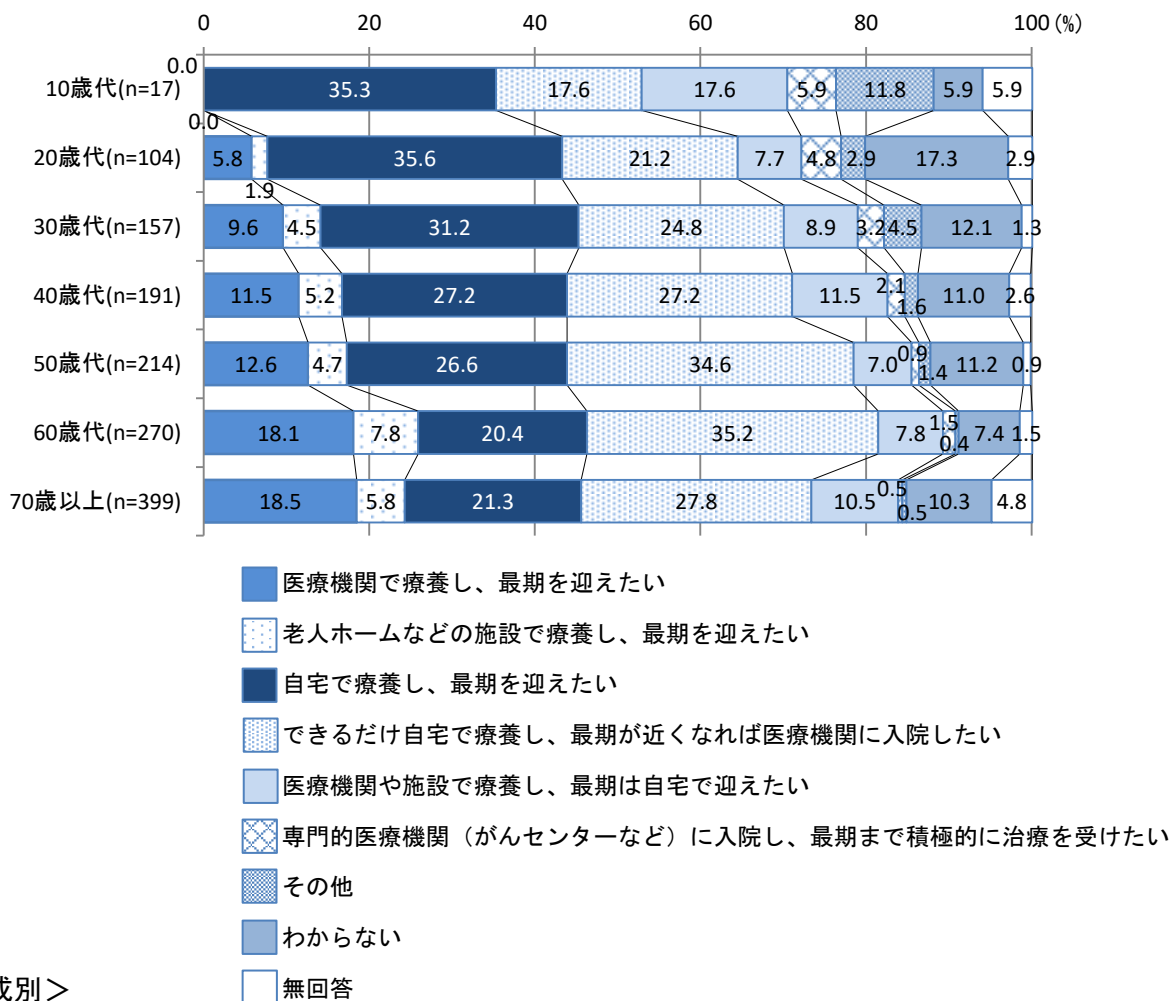
■問 21 あなたの余命が残り少ない（6ヶ月より短い期間）と告げられた場合、どこで療養し、最期を迎えたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



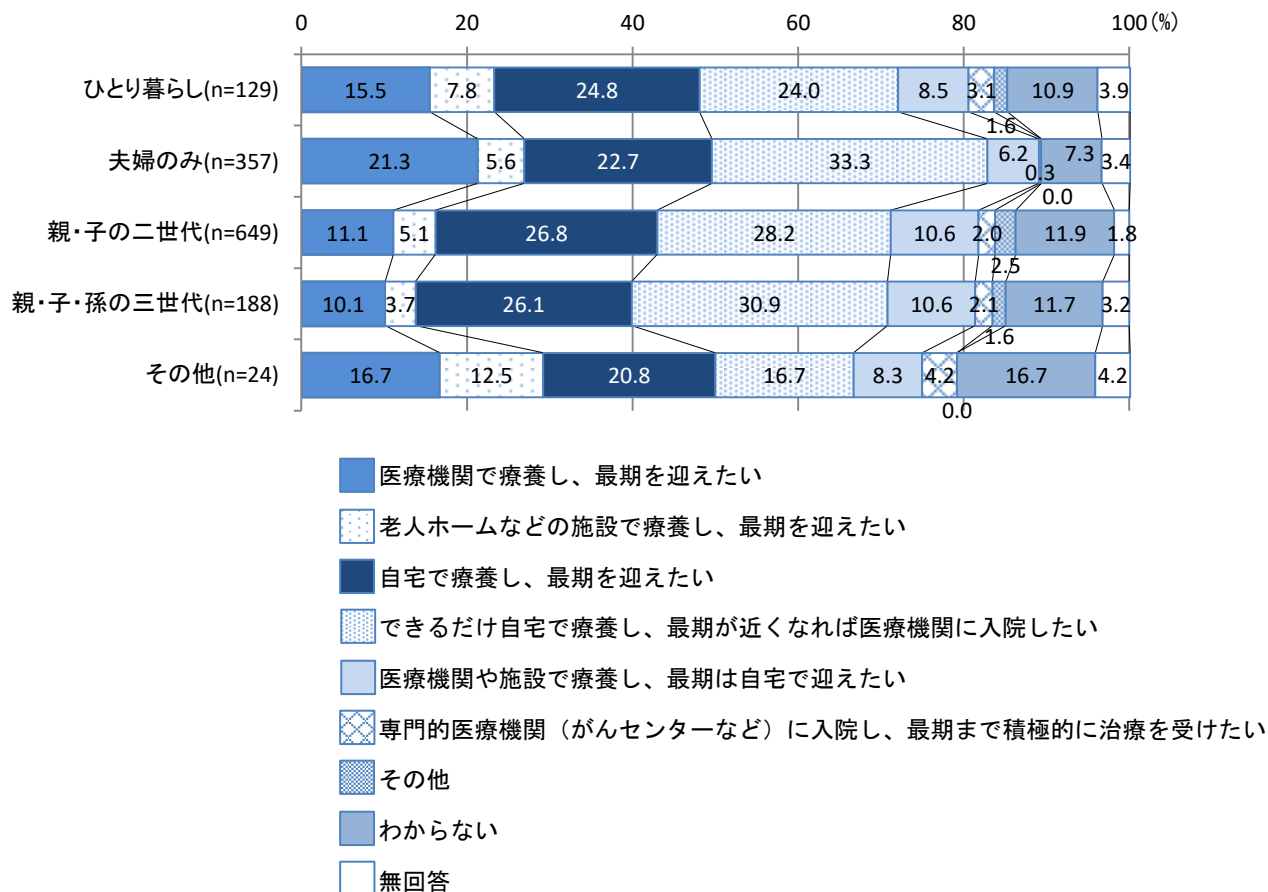
<性別>



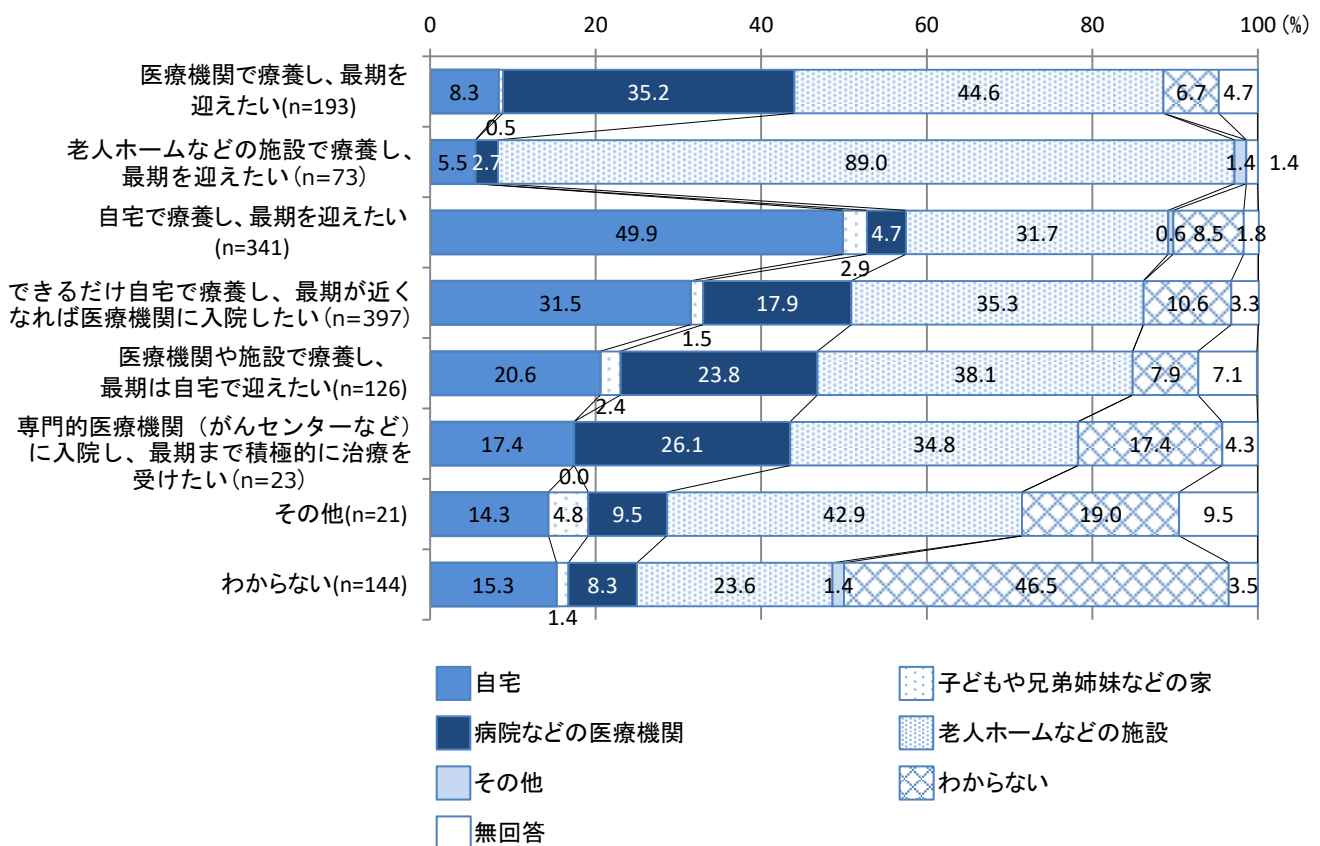
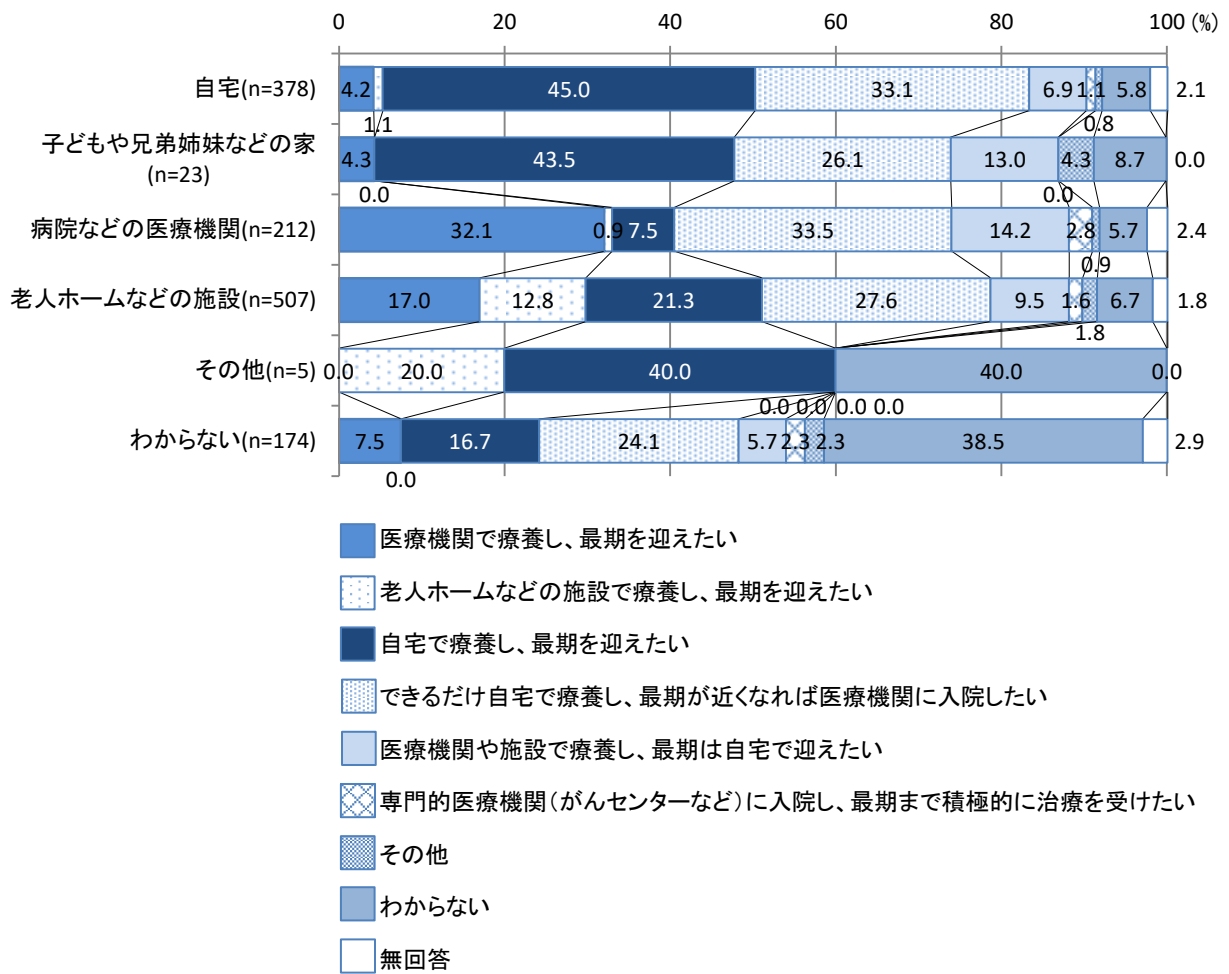
<年齢階層別>



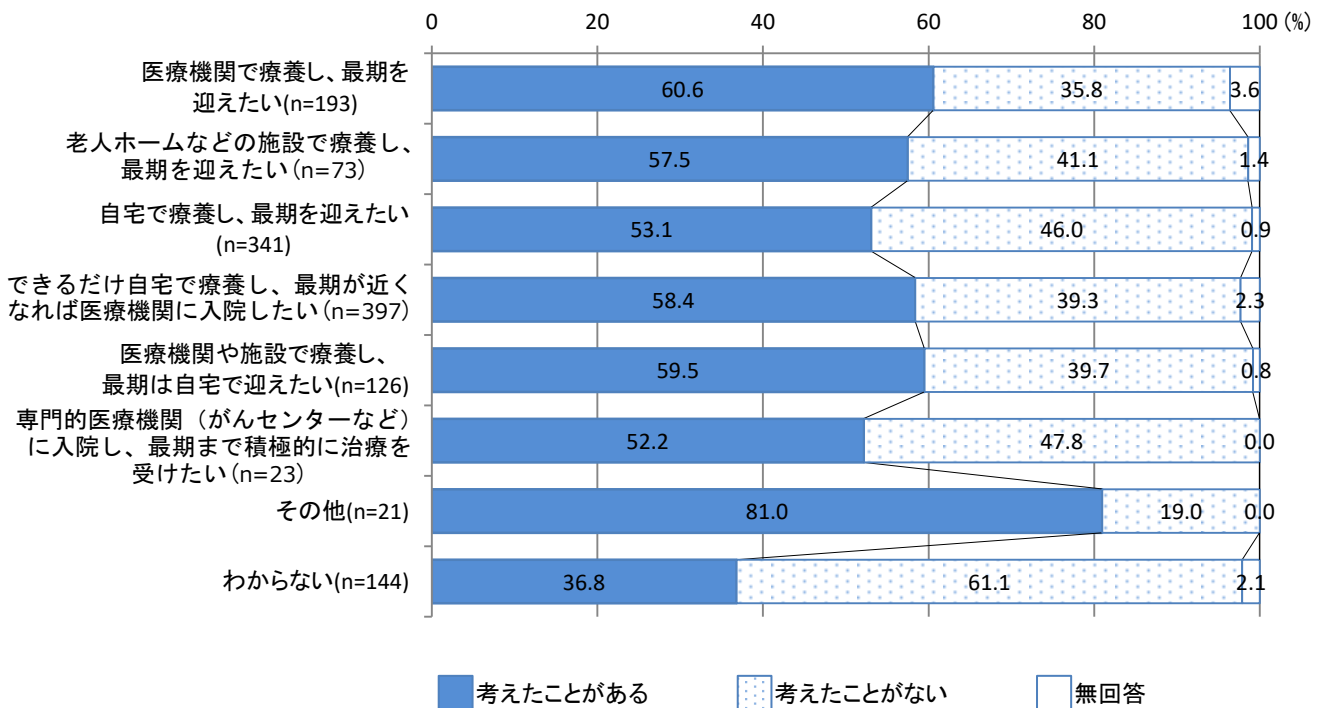
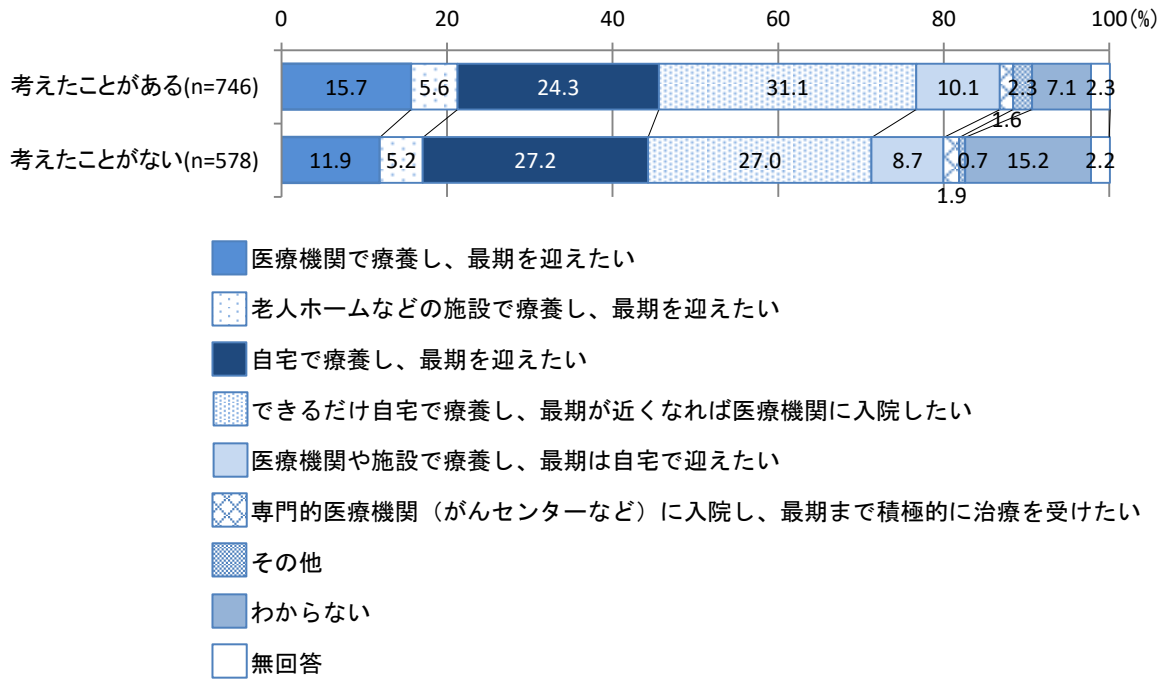
<世帯構成別>



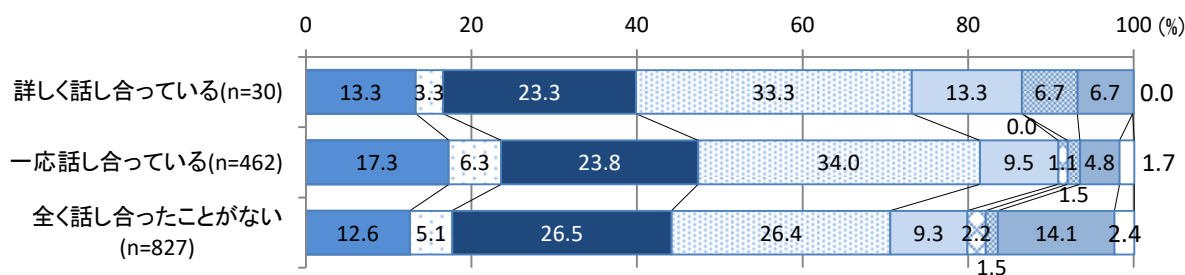
<問 15 とのクロス集計>



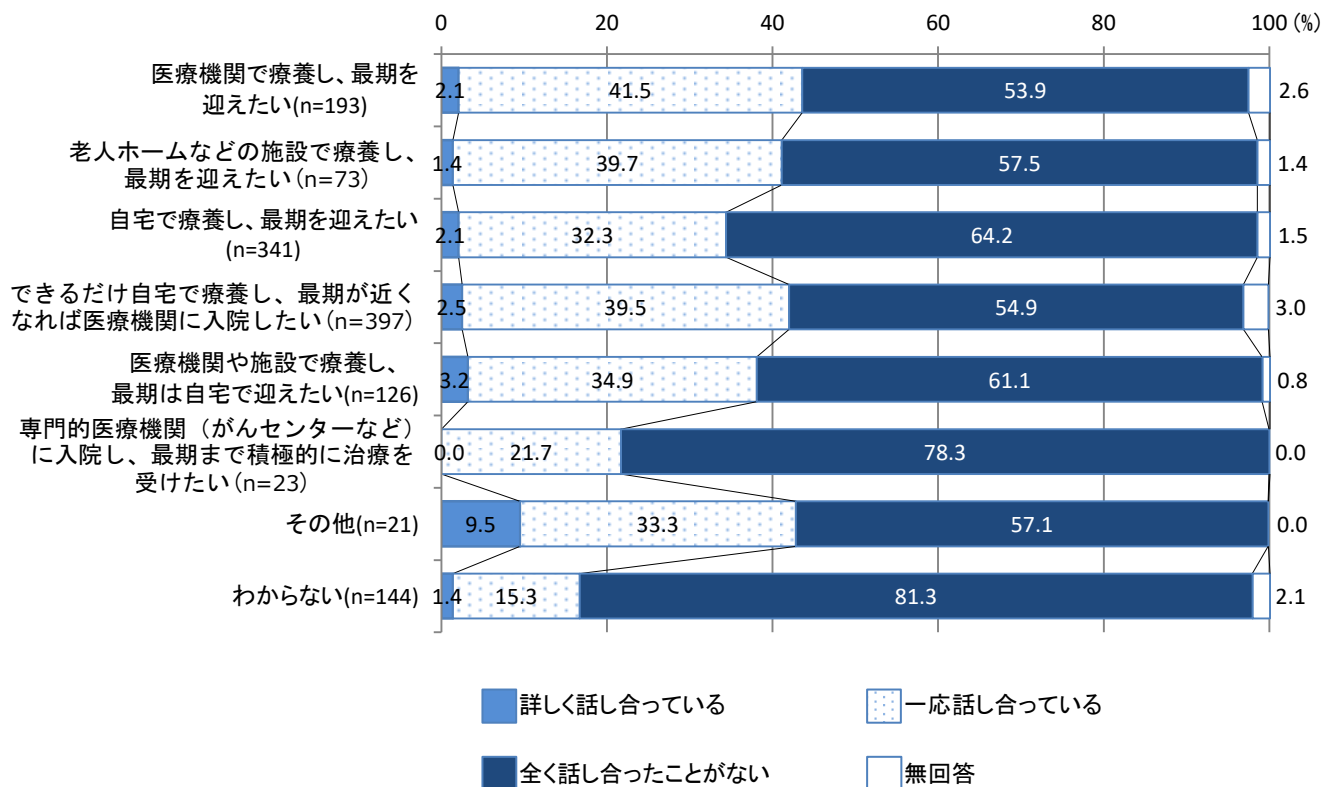
<問 16 とのクロス集計>



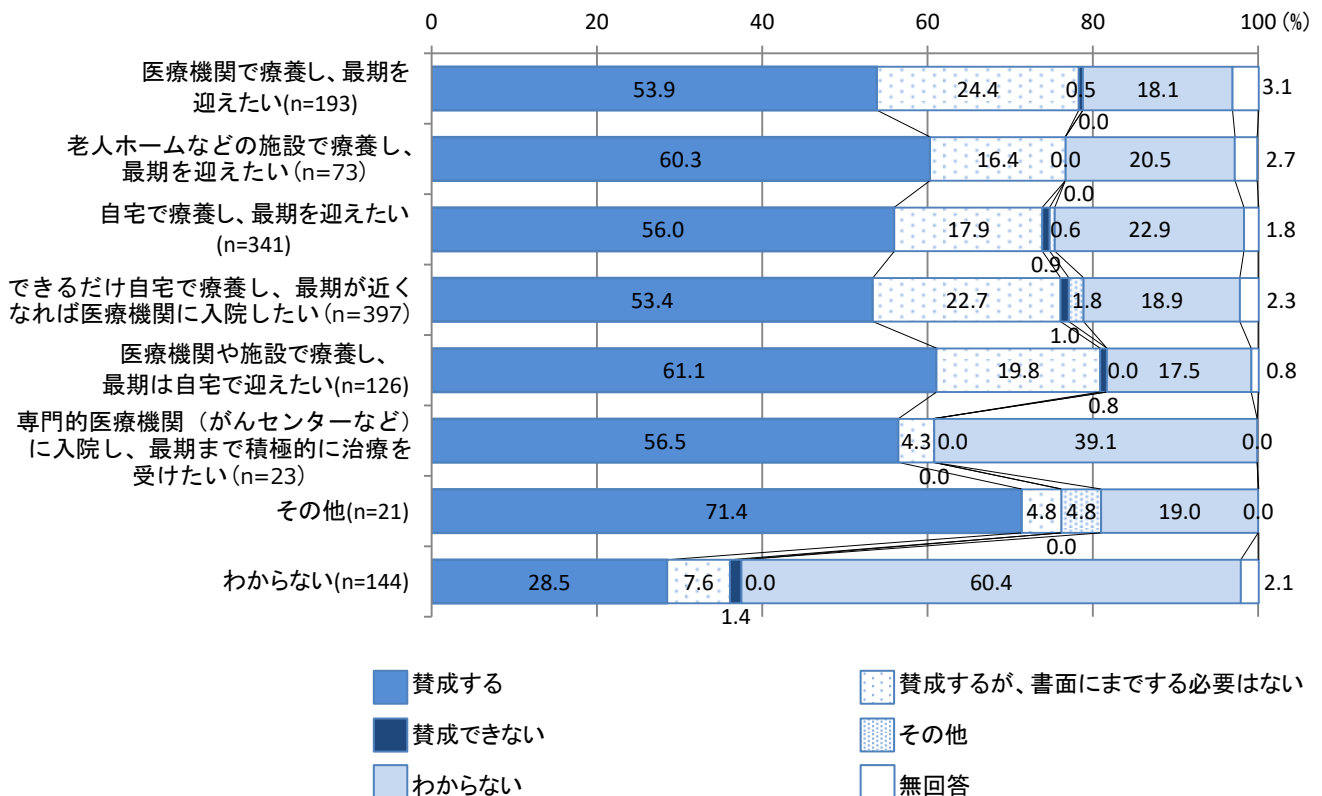
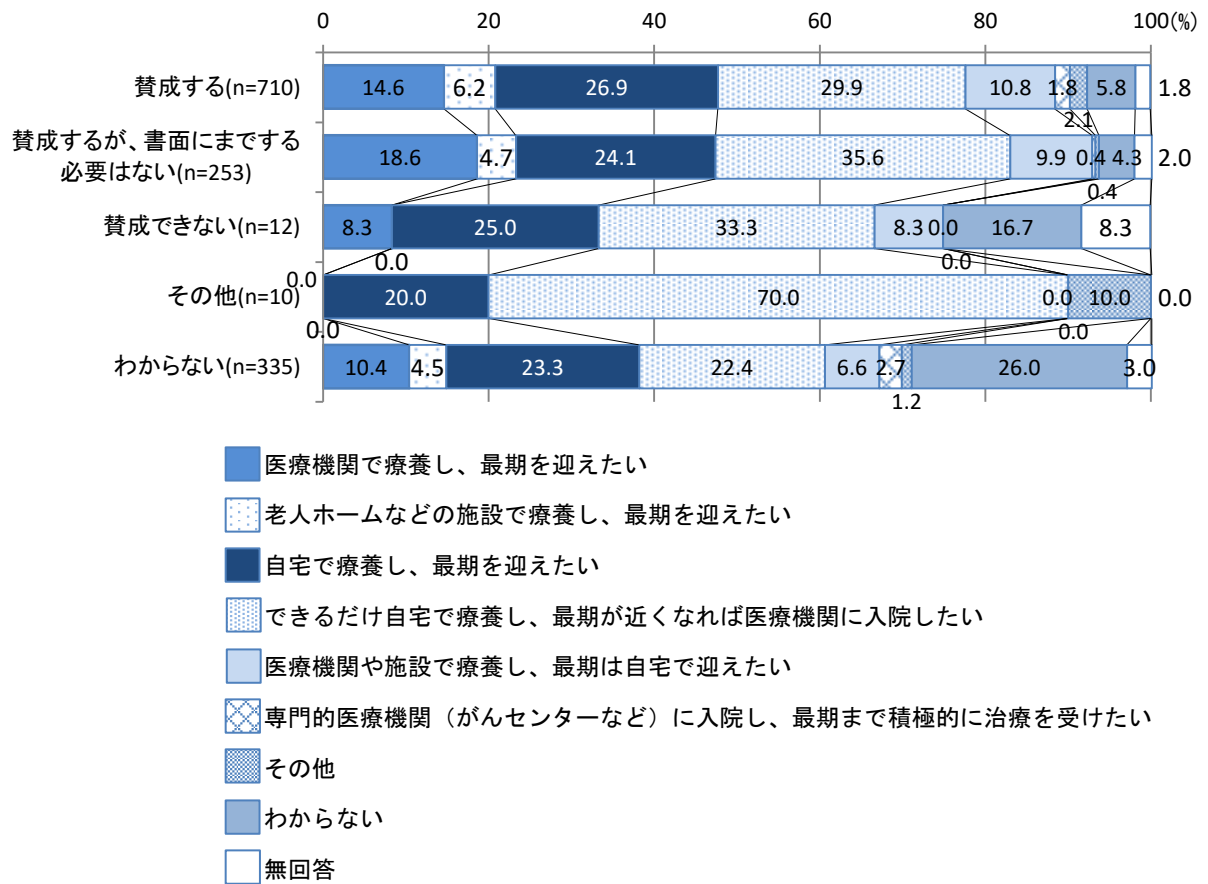
<問 17 とのクロス集計>



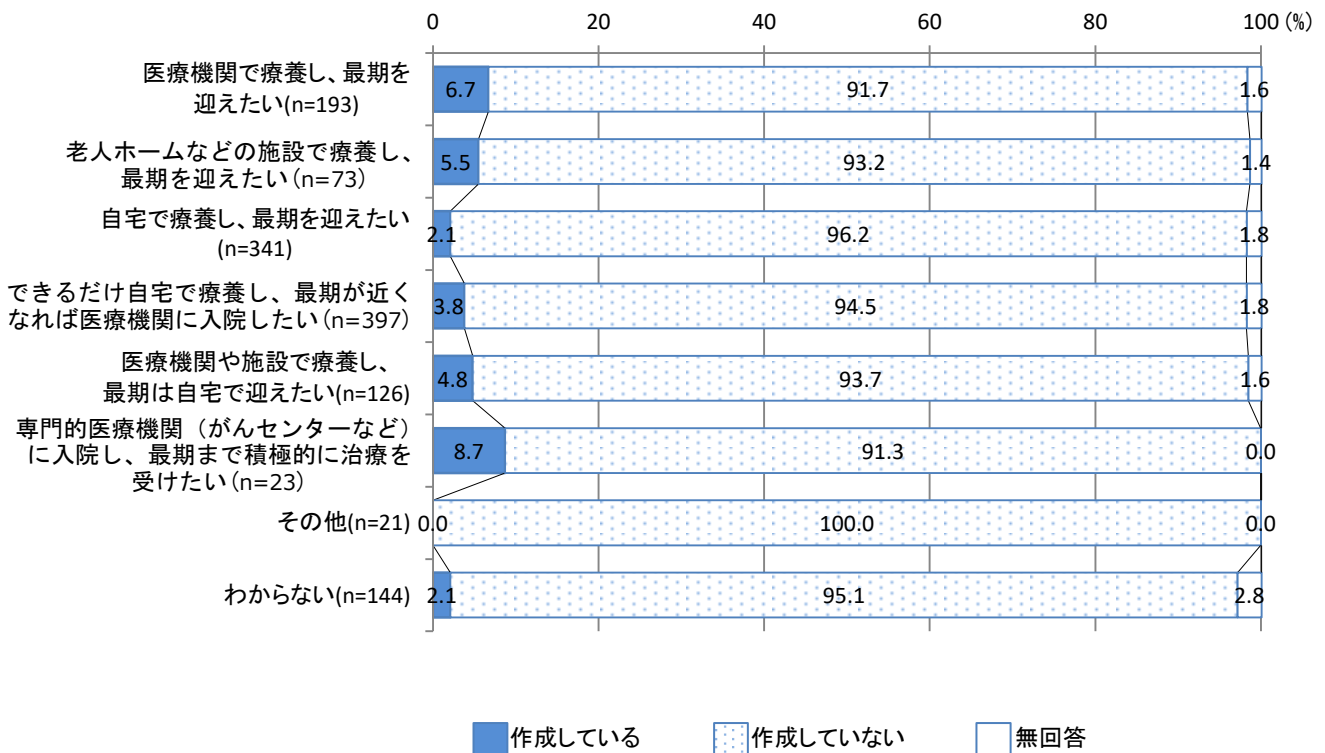
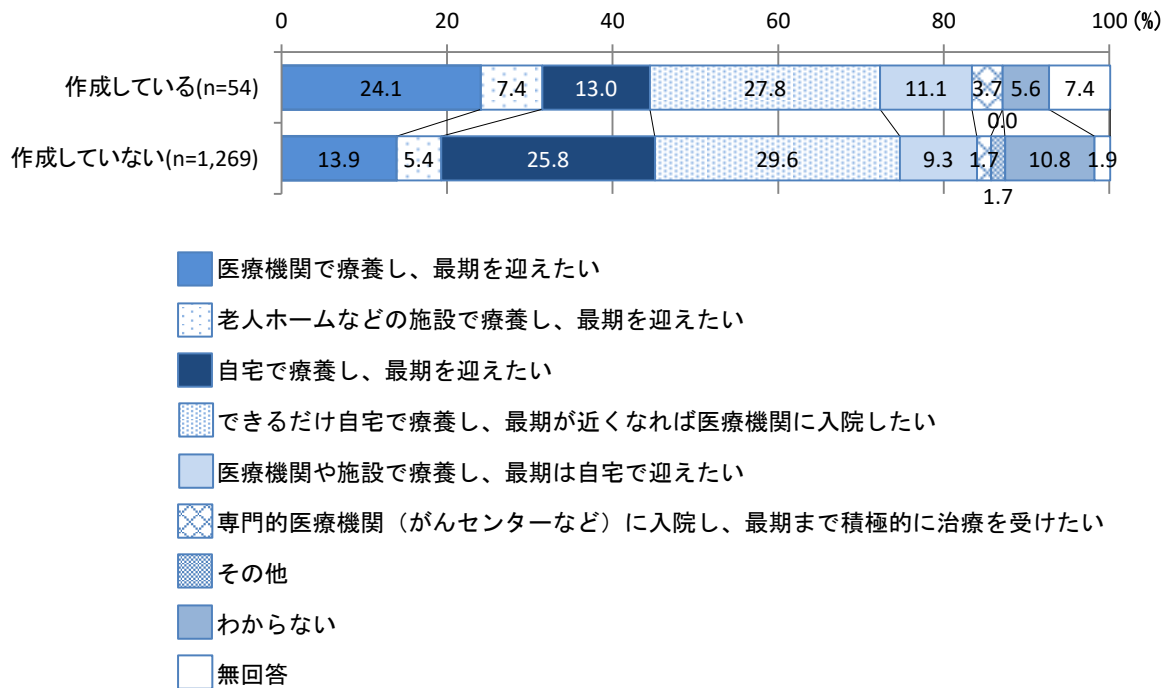
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



<問 18 とのクロス集計>



<問 19 とのクロス集計>



【余命が残り少ない場合に療養・最期を迎えたい場所】

(%)

	全体	医療機関で療養し、最期を迎えたい	老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい	自宅で療養し、最期を迎えたい	できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい	医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい	専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,354	14.3	5.4	25.2	29.3	9.3	1.7	1.6	10.6	2.7
性別	男性 n= 549	13.3	6.2	29.0	26.0	8.4	2.2	1.5	12.0	1.5
	女性 n= 710	15.1	4.5	23.4	32.5	9.6	1.4	1.7	9.6	2.3
年齢階層	10歳代 n= 17	0.0	0.0	35.3	17.6	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9
	20歳代 n= 104	5.8	1.9	35.6	21.2	7.7	4.8	2.9	17.3	2.9
	30歳代 n= 157	9.6	4.5	31.2	24.8	8.9	3.2	4.5	12.1	1.3
	40歳代 n= 191	11.5	5.2	27.2	27.2	11.5	2.1	1.6	11.0	2.6
	50歳代 n= 214	12.6	4.7	26.6	34.6	7.0	0.9	1.4	11.2	0.9
	60歳代 n= 270	18.1	7.8	20.4	35.2	7.8	1.5	0.4	7.4	1.5
	70歳以上 n= 399	18.5	5.8	21.3	27.8	10.5	0.5	0.5	10.3	4.8
世帯構成	ひとり暮らし n= 129	15.5	7.8	24.8	24.0	8.5	3.1	1.6	10.9	3.9
	夫婦のみ n= 357	21.3	5.6	22.7	33.3	6.2	0.3	0.0	7.3	3.4
	親・子の二世帯 n= 649	11.1	5.1	26.8	28.2	10.6	2.0	2.5	11.9	1.8
	親・子・孫の三世帯 n= 188	10.1	3.7	26.1	30.9	10.6	2.1	1.6	11.7	3.2
	その他 n= 24	16.7	12.5	20.8	16.7	8.3	4.2	0.0	16.7	4.2
同居の子ども	子どもがいる n= 589	11.2	5.8	25.0	29.5	11.5	1.5	2.2	11.0	2.2
	子どもはいない n= 667	16.6	4.8	26.8	29.5	6.9	1.8	0.9	10.2	2.4
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 621	13.0	6.3	26.6	28.8	8.5	2.6	1.6	9.3	3.2
	備中地域 n= 554	16.1	5.2	22.9	29.6	8.7	0.7	1.3	13.0	2.5
	美作地域 n= 176	13.1	2.8	27.8	30.1	13.1	1.7	2.3	8.0	1.1
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 621	13.0	6.3	26.6	28.8	8.5	2.6	1.6	9.3	3.2
	県南西部 n= 502	15.9	5.6	22.5	29.3	9.2	0.6	1.4	13.1	2.4
	高梁・新見 n= 52	17.3	1.9	26.9	32.7	3.8	1.9	0.0	11.5	3.8
	真庭 n= 48	10.4	4.2	31.3	29.2	8.3	0.0	4.2	10.4	2.1
	津山・英田 n= 128	14.1	2.3	26.6	30.5	14.8	2.3	1.6	7.0	0.8
居住年数	5年未満 n= 40	10.0	0.0	52.5	17.5	2.5	0.0	0.0	12.5	5.0
	5年以上10年未満 n= 38	13.2	7.9	23.7	13.2	10.5	7.9	7.9	15.8	0.0
	10年以上20年未満 n= 112	12.5	2.7	25.9	28.6	9.8	5.4	3.6	8.0	3.6
	20年以上 n= 1,159	14.7	5.8	24.2	30.4	9.3	1.2	1.2	10.6	2.6
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 125	9.6	4.0	24.8	35.2	9.6	2.4	1.6	10.4	2.4
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 374	10.2	4.3	32.6	27.5	8.0	2.1	1.6	12.0	1.6
	会社・団体などの役員 n= 37	16.2	5.4	21.6	29.7	8.1	2.7	2.7	10.8	2.7
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 251	14.3	6.8	23.1	31.5	11.2	1.6	0.8	8.4	2.4
	専業主婦(主夫) n= 183	21.3	5.5	17.5	31.7	9.3	1.6	2.7	8.7	1.6
	学生 n= 33	3.0	0.0	39.4	15.2	9.1	6.1	12.1	12.1	3.0
	無職 n= 345	17.4	6.7	22.3	27.5	9.0	0.3	0.3	11.9	4.6

○余命が残り少ない場合に療養・最期を迎えたい場所について

全体では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が最も高く、次いで「自宅で療養し、最期を迎えたい」などの順となっている。

性別にみると、「男性」は「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」よりも「自宅で療養し、最期を迎えたい」のほうが高くなっている。

年齢階層別にみると、「医療機関で療養し、最期を迎えたい」や「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。一方、「自宅で療養し、最期を迎えたい」は年齢が上がるにつれて低くなっている。